

横須賀市立小・中学校 教育環境整備計画

令和4年度（2022年度）～令和11年度（2029年度）

令和8年3月改定

横須賀市教育委員会

【 目 次 】

第1章 教育環境整備計画の概要

1	計画の趣旨	1
2	計画改定の経緯	1
3	計画の位置付け	1
4	計画期間	2
5	計画の見直し・次期計画の策定	2

第2章 現状と課題

1	横須賀市の人口推移	3
2	小・中学校の現状と課題	4
3	地域ごとの課題	14

第3章 教育環境整備の取り組み

1	手順	19
2	検討のための基準	21
3	教育環境整備の方策	22
4	検討地域・対象校	23

《 参考資料 》

1	各行政センター区域の通学区域図および児童・生徒数推移	38
2	児童・生徒・学級数一覧	56
3	児童・生徒・学級数推計一覧	58

第1章 教育環境整備計画の概要

1 計画の趣旨

本計画は、急激な人口減少が見込まれる本市において、「横須賀市教育振興基本計画」において目指す教育の姿としている「あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり」の実現を目指し、市立小・中学校の規模および配置の適正化を含めた教育環境の整備を推進するために策定したものです。

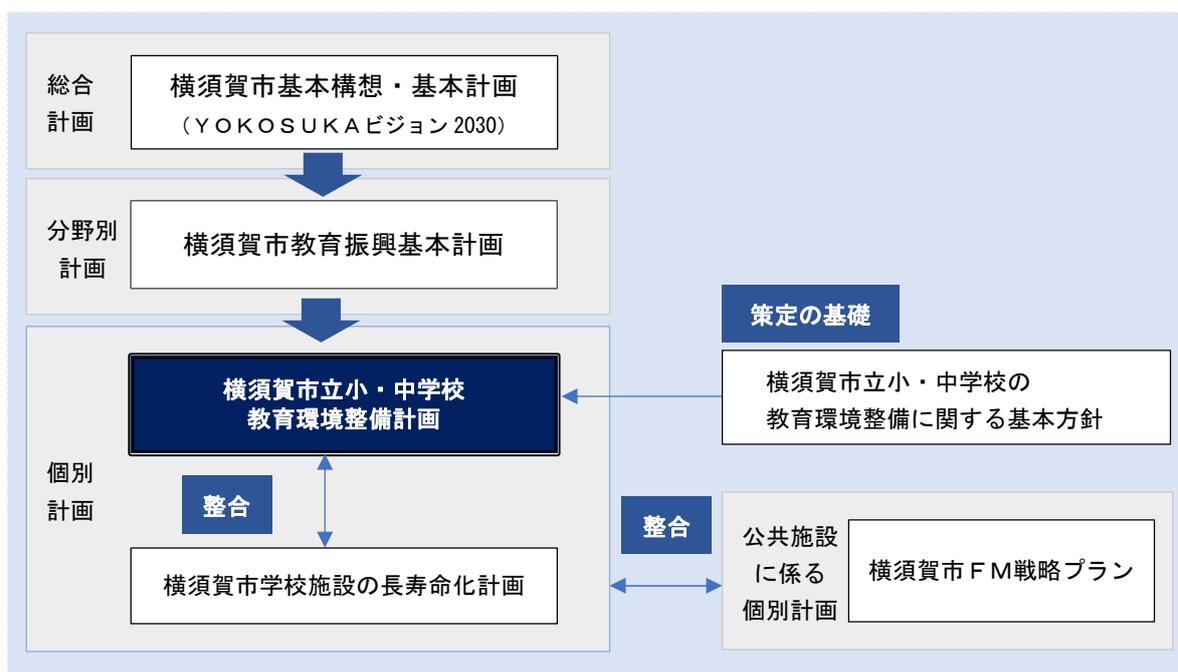
2 計画改定の経緯

これまで本計画に基づき進めてきた教育環境整備について、令和6年度までの実績を踏まえ、当初は後期計画で検討を開始する予定であった逸見・中央地域への着手を令和7年度へ前倒して実施しました。また、新たな検討地域や対象校の追加を含め、後期計画の見直しを行うことに伴い、本計画を改定するものです。

3 計画の位置付け

本計画は、「横須賀市立小・中学校の教育環境整備に関する基本方針」に基づく実施計画であり、教育環境整備の検討対象地域・対象校および検討時期等について定めています。

また、「横須賀市基本構想・基本計画（YOKOSUKAビジョン2030）」に基づく分野別計画として策定した「横須賀市教育振興基本計画」の個別計画として位置付けます。同様の個別計画である「横須賀市学校施設の長寿命化計画」や横須賀市の公共施設のうち建物に関する将来の在り方等について定める「横須賀市FM戦略プラン」とは、整合を図りながら取り組みを進めていきます。



4 計画期間

教育環境整備計画の計画期間は、「横須賀市教育振興基本計画」に合わせて、令和4年度(2022年度)から令和11年度(2029年度)までの8年間としています。

計画期間をそれぞれ4年間ずつ、「前期計画」と「後期計画」に分けて教育環境整備を実施します。

教育環境整備計画 令和4年度(2022年度)～令和11年度(2029年度)	
前期計画 令和4年度～令和7年度 (2022年度～2025年度)	後期計画 令和8年度～令和11年度 (2026年度～2029年度)

5 計画の見直し・次期計画の策定

前期計画期間の最終年度となる令和7年度(2025年度)に当たり、これまでの進捗状況等を踏まえて後期計画の見直しを行います。さらに、後期計画の最終年度となる令和11年度(2029年度)には次期計画の策定を行う予定です。

また、国の施策の大幅な変更や社会情勢の変化等により計画の見直しが必要となったときには、その都度検討を行い、見直しを図ります。

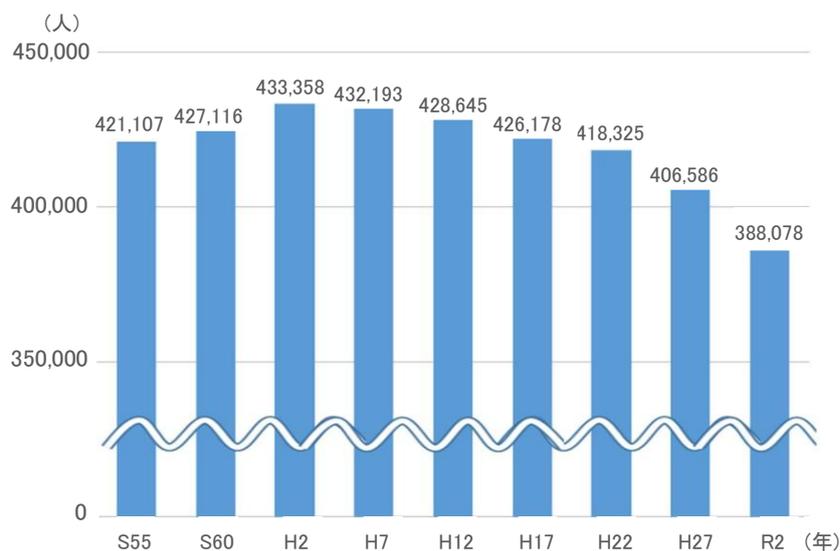
第2章 現状と課題

1 横須賀市の人口推移

本市の人口は、令和2年(2020年)の国勢調査結果では388,078人であり、平成2年(1990年)の433,358人をピークに減少傾向にあります。10年ごとの人口減少の推移を見ていくと、平成2年(1990年)から平成12年(2000年)では約5千人の減、平成12年(2000年)から平成22年(2010年)では約1万人の減、平成22年(2010年)から令和2年(2020年)では約3万人の減と、人口減少が加速している状況が見て取れます。

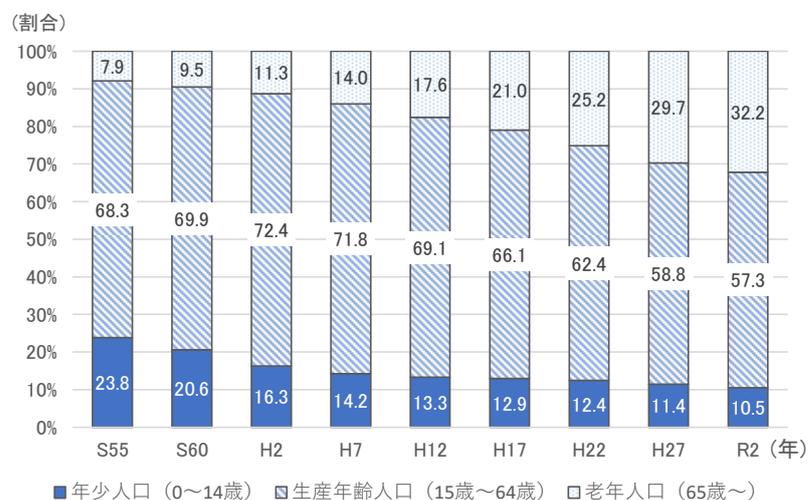
また、年齢3区分別人口割合の推移を見てみると、年少人口(0～14歳)は昭和60年(1985年)までは20%台を維持していましたが、少子化の進展に伴い令和2年(2020年)では10.5%となり、今後も減少が見込まれます。

■人口総数の推移



出典：総務省「国勢調査」

■年齢3区分別人口割合の推移



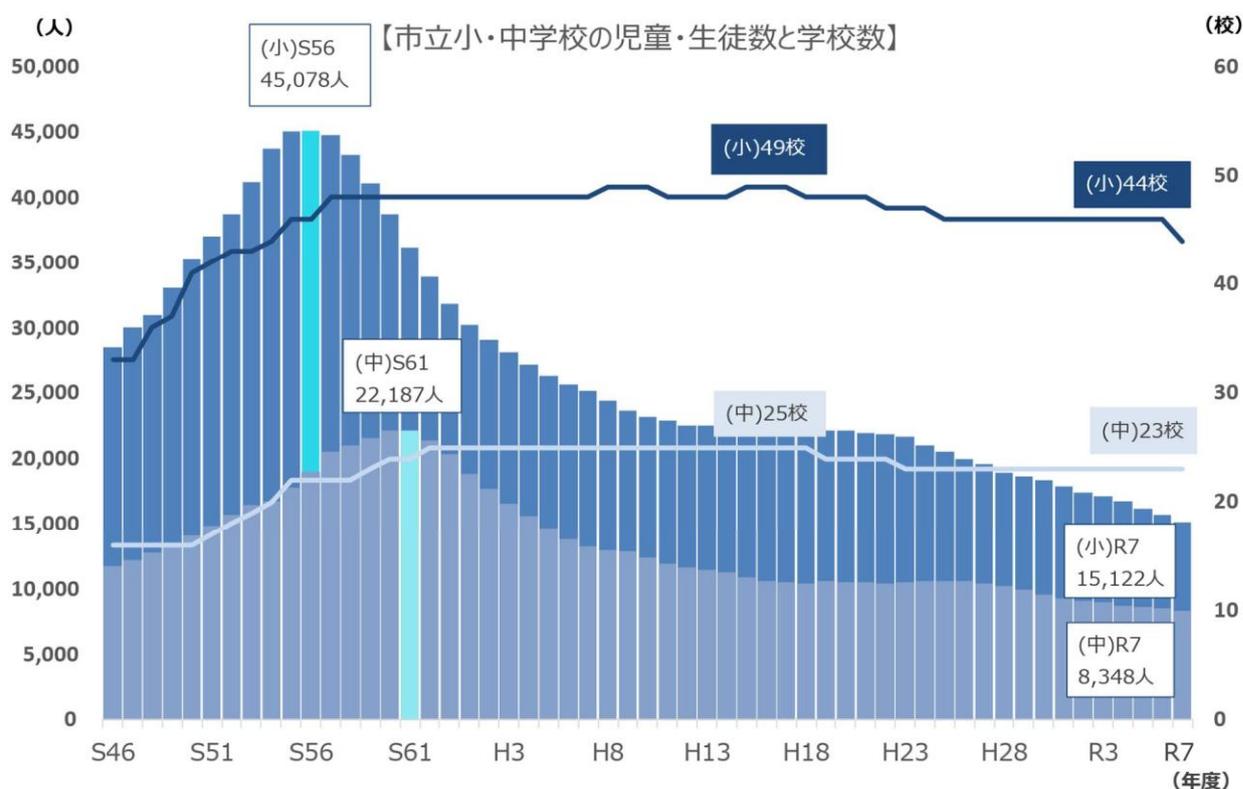
出典：総務省「国勢調査」

2 小・中学校の現状と課題

(1) 小・中学校の児童・生徒数推移

小・中学校の児童・生徒数は、令和7年(2025年)5月1日現在で児童数が15,122人、生徒数が8,348人となっています。昭和56年(1981年)の児童数のピーク45,078人、昭和61年(1986年)の生徒数のピーク22,187人と比較して、児童・生徒ともに約6割減少しています。児童・生徒数が減少している中で、学校数にはほとんど変化がないため、多くの学校で小規模化が進んでいます。

■児童・生徒数と学校数の推移



(2) 小・中学校の学校規模

昭和 56 年（1981 年）の児童数のピーク時と昭和 61 年（1986 年）の生徒数のピーク時においては、大規模校（25～30 学級）と過大規模校（31 学級以上）の割合が小学校で約 54%（25 校）、中学校で約 25%（6 校）でした。児童・生徒数の減少に伴い、令和 7 年（2025 年）5 月 1 日現在、市内には大規模校と過大規模校はありません。一方、小規模校（小学校は 6～11 学級、中学校は 3～11 学級）の数は増加しており、小学校で約 36%（16 校）、中学校で約 69%（16 校）が小規模校となっています。中には 1 学級の人数が著しく少ない学校や男女比が偏っている学校もあります。

このような状況の中で、人間関係面においては関係が固定化しやすいこと、指導面においては多様な意見等に触れることが難しいことや集団学習に制約が生じること、学校運営面においてはバランスの取れた教職員配置が難しいことや教職員 1 人当たりの校務が幅広く負担になることなど、さまざまな課題が生じています。

学校は、知識や物事を修得する場であると同時に、子ども同士が豊かな人間関係を築き、社会性を身に付ける大切な場でもあります。また、さまざまな学習形態や活動に応じて少人数のグループから大きな集団まで、目的に応じた適切な規模の集団を構成し、多様な教育活動を展開する必要があります。

上記のようなことから、学校教育においては一定の集団規模を確保する必要があり、「横須賀市立小・中学校の教育環境整備に関する基本方針」においては、適正規模の範囲を小・中学校ともに 12 学級から 24 学級としています。

このような学校規模に係る課題の解決に向けて、教育環境の整備を進めていきます。

■学校規模の定義

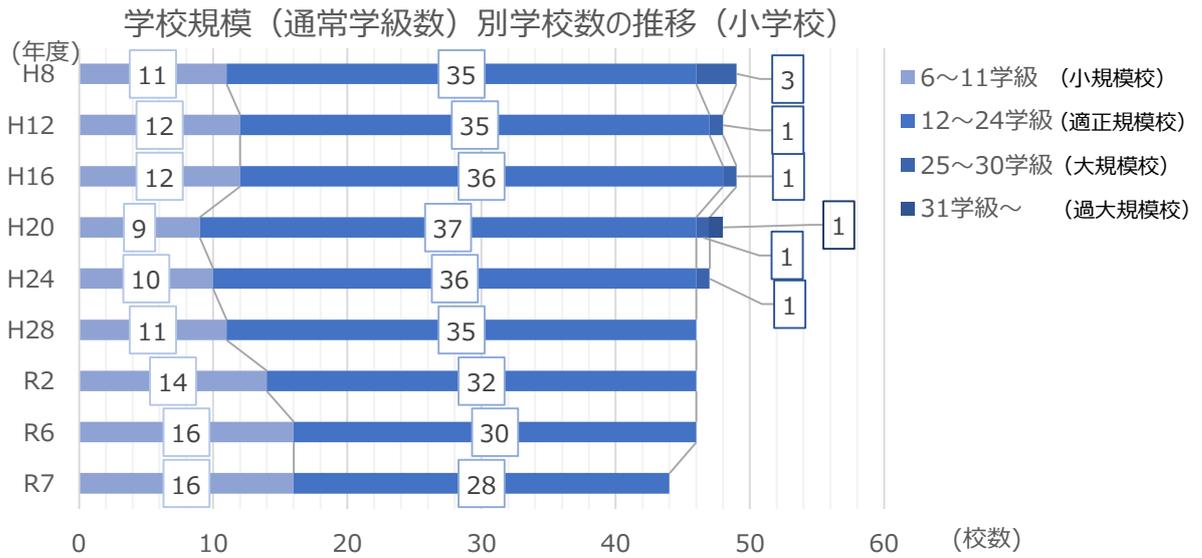
	小学校	中学校
過小規模校	1～5 学級（複式学級※あり）	1～2 学級（複式学級※あり）
小規模校	6～11 学級（各学年 1～2 学級）	3～11 学級（各学年 1～4 学級）
適正規模校	12～24 学級（各学年 2～4 学級） ・各学年でクラス替えが可能 ・学年運営が効果的に行える。 ・教員と児童が十分に関わりを持つことができる。	12～24 学級（各学年 4～8 学級） ・各学年でクラス替えが可能 ・学年運営が効果的に行える。 ・教員と生徒が十分に関わりを持つことができる。 ・5 教科の教員が複数配置でき、また、選択教科、部活動などの指導体制が充実する。
大規模校	25～30 学級（各学年 4～5 学級）	25～30 学級（各学年 8～10 学級）
過大規模校	31 学級～（6 学級以上の学年あり）	31 学級～（11 学級以上の学年あり）

※複式学級… 2 つ以上の異なる学年を 1 つにして編制した学級

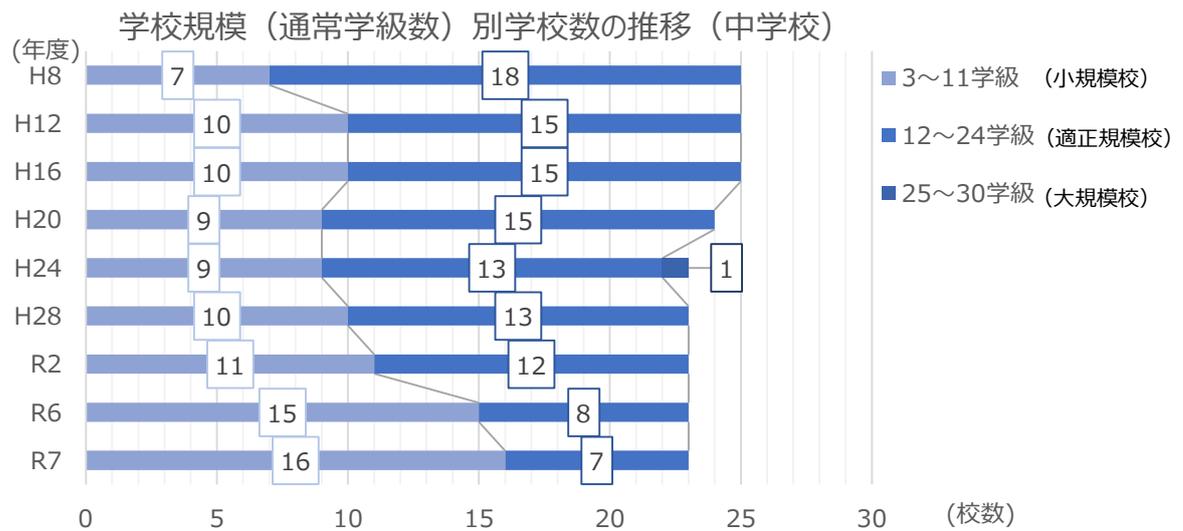
※学級数は学校規模の比較のため、通常学級を記載

出典：横須賀市立小・中学校の教育環境整備に関する基本方針

■小学校の学校規模別学校数の推移



■中学校の学校規模別学校数の推移



■市立小・中学校の学校規模一覧表

【小学校】

	学校名	通常学級数	児童数	学校規模
1	逸見	6	67 (7)	小規模校 (11学級以下) 16校
2	沢山	6	82 (8)	
3	汐入	6	84 (12)	
4	追浜	6	92 (7)	
5	荻野	6	148 (24)	
6	北下浦	8	210 (6)	
7	望洋	8	211 (10)	
8	富士見	8	222 (24)	
9	長浦	10	218 (15)	
10	桜	11	243 (10)	
11	馬堀	11	258 (25)	
12	長井	11	258 (10)	
13	鴨居	11	263 (19)	
14	豊島	11	267 (21)	
15	高坂	11	281 (25)	
16	小原台	11	304 (19)	
17	鷹取	12	282 (13)	適正規模校 (12~24学級) 28校
18	栗田	12	290 (18)	
19	岩戸	12	314 (23)	
20	野比東	12	314 (14)	
21	津久井	12	314 (21)	
22	船越	12	330 (25)	
23	大津	12	332 (12)	
24	大矢部	12	335 (33)	
25	大塚台	12	357 (16)	
26	衣笠	12	377 (42)	
27	武山	12	378 (30)	
28	諏訪	13	382 (34)	
29	山崎	13	385 (28)	
30	田戸	14	371 (29)	
31	大楠	14	397 (22)	
32	浦賀	14	400 (17)	
33	城北	15	428 (32)	
34	鶴久保	15	441 (23)	
35	池上	15	469 (25)	
36	夏島	16	485 (35)	
37	野比	17	471 (30)	
38	神明	17	505 (39)	
39	明浜	17	538 (28)	
40	根岸	18	539 (24)	
41	久里浜	18	588 (44)	
42	森崎	21	598 (29)	
43	浦郷	21	621 (41)	
44	公郷	22	673 (36)	
合計		553	15,122 (1,005)	

【中学校】

(令和7年5月1日現在)

	学校名	通常学級数	生徒数	学校規模
1	長井	6	131 (5)	小規模校 (11学級以下) 16校
2	岩戸	6	153 (4)	
3	鷹取	6	160 (5)	
4	北下浦	7	215 (8)	
5	馬堀	7	240 (14)	
6	長沢	8	295 (11)	
7	坂本	9	292 (27)	
8	大楠	9	294 (9)	
9	池上	9	303 (19)	
10	武山	9	347 (14)	
11	野比	9	356 (19)	
12	常葉	9	358 (29)	
13	田浦	10	351 (21)	
14	公郷	10	373 (26)	
15	不入斗	11	370 (9)	
16	鴨居	11	378 (24)	
17	衣笠	12	411 (14)	適正規模校 (12~24学級) 7校
18	神明	12	441 (46)	
19	大矢部	12	474 (19)	
20	浦賀	15	542 (17)	
21	久里浜	16	574 (20)	
22	追浜	17	618 (9)	
23	大津	18	672 (29)	
合計		238	8,348 (398)	

※通常学級の学級数および児童・生徒数総数の少ない順番で記載
 ※カッコ内は、特別支援学級の再掲

(3) 通学区域の課題

ア 通学距離

「横須賀市立小・中学校の教育環境整備に関する基本方針」においては、適正な通学距離を小学校で2キロメートル程度、徒歩30分程度、中学校で3キロメートル程度、徒歩45分程度としています。

しかしながら、学校の立地によっては自然環境や住宅の分布などの地理的条件により、この基準を超える地域もあります。こういった地域ごとの実情を踏まえて、適切な通学区域の設定や通学手段の確保を行う必要があります。

■ 適正な通学距離の範囲

小学校	中学校
●2キロメートル程度 徒歩30分程度	●3キロメートル程度 徒歩45分程度

※上記の通学距離に加え、当該地域の地理的条件等により教育委員会が総合的に検討した上で、適正配置の検討や通学支援の実施について判断します。

出典：横須賀市立小・中学校の教育環境整備に関する基本方針

■ 適正な通学距離を超える可能性のある学校

小学校（2キロ程度以上）7校	中学校（3キロ程度以上）5校
長浦小、衣笠小、馬堀小、 明浜小、武山小、荻野小、大楠小	田浦中、馬堀中、浦賀中、 久里浜中、大楠中

※実際に通学する児童・生徒の有無にかかわらず、通学区域内で最も近い距離を計測したもの

イ 小中一貫教育ブロックの不一致

本市では、平成 28 年度(2016 年度)から小中一貫教育を「義務教育 9 年間を一体と捉え、発達の段階に応じて子どもの学びをつなぐ教育」とし、23 の中学校ブロックごとに取り組んでいます。通学区域を共にする小・中学校が、子どもや地域の実態を基に共通の教育方針を設定して、9 年間を通じた教育課程を工夫し、「学びの系統性・連続性」を重視した教育を行っています。

しかし、1 つの小学校区が複数の中学校区に分かれて小中一貫教育ブロックが一致していない地域があるため、今後、通学区域と小中一貫教育ブロックの整理に努めます。

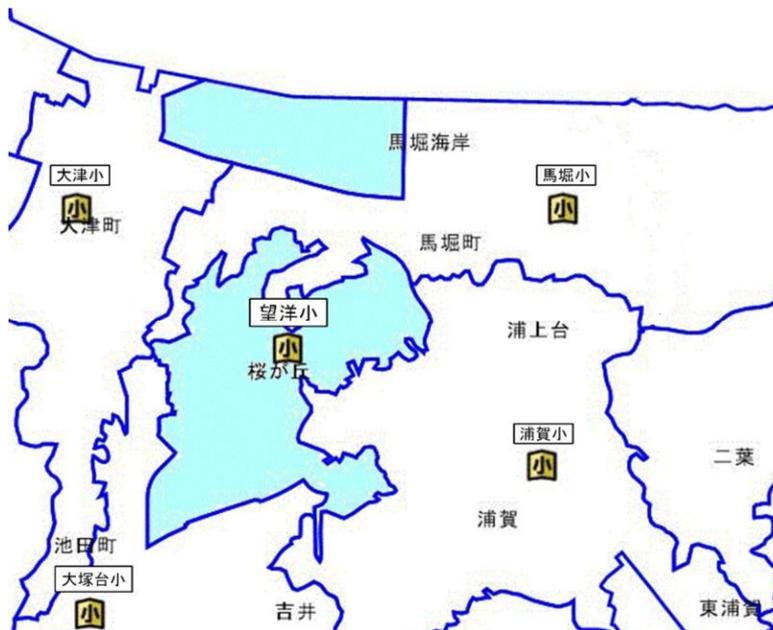
■小中一貫教育ブロックの一致状況（図）



ウ 飛び地

望洋小学校と野比中学校には、通学区域に飛び地が存在し、児童・生徒の通学や地域との関わりに影響がある地域がありますので、今後、学校配置の見直しを行う場合は、改善に努めます。

■望洋小学校区の飛び地



出典：国土地理院基盤地図

■野比中学校区の飛び地



出典：国土地理院基盤地図

(4) 学校施設の課題

本市の学校施設は、児童・生徒の増加を背景に昭和 50 年代に集中して建設され、令和 7 年度（2025 年度）時点で、全体の約 6 割の学校に建築後 50 年以上経過した校舎があり、体育館を含むその他の学校施設についても同様に老朽化が進んでいます。

また、本市には起伏に富んだ丘陵地が多く、建築後 50 年以上経過した学校の半分以上で、施設や敷地の一部が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）（※）に指定されています。レッドゾーンに指定された施設もしくは敷地を含む学校は、建て替えコストが高くなることや安全性への配慮から建て替えが困難な場合もあります。

このような状況の中で学校施設を維持していくためには、大規模改修工事等に多額の費用が必要になるだけでなく、その時期も同じ期間に集中することが想定されるため、効率的な維持管理を行うことが求められています。

横須賀市内の公共施設等の基本的な維持管理の方針を定める「横須賀市公共施設等総合管理計画」に基づき、学校施設の個別施設計画として「横須賀市学校施設の長寿命化計画」を令和 3 年（2021 年）3 月に策定し、学校施設の目標耐用年数を、鉄筋コンクリート造の上限値である 80 年としました。

しかし、学校施設を築 80 年で一律に建て替えると、数年間に 10 校以上の学校の建て替えが必要になってしまいます。また、建て替えの構想等の検討から工事竣工まで相当の期間を要することから、平準化のために可能な限り前倒して着手することを考えると、現時点で築 60 年以上の学校については、建て替えを含めた教育環境整備の検討を始める必要があります。

建て替えの検討に当たっては、まず子どもたちの生活や教育環境に支障が生じないように配慮し、適正な学校規模や配置を踏まえるとともに、法令上の制限や学校の敷地面積、レッドゾーン等に十分留意して進めます。

※土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）について

土砂災害の種別（急傾斜地の崩壊、土石流、地滑り）ごとに設けられた基準に基づき、都道府県が指定する区域です。

土砂災害が発生した場合、区域内の建物が倒壊するなどして、住民の生命や身体に著しい危険が生じるおそれが特に高い区域です。

この区域では特定の開発行為が制限され、建物を新築・増築する際には土砂災害に耐えられる構造とする義務があります。

（都道府県がおおむね 5 年ごとに土砂災害警戒区域等の指定に必要な調査を実施し、区域の見直しを行っている。）

■学校施設の築年数・レッドゾーンの状況（令和7年5月1日時点）

	学校名	建築年度	経過年数	レッドゾーン
1	夏島小	S30	70	●
2	豊島小	S30	70	●
3	逸見小	S31	69	●
4	田戸小	S31	69	
5	衣笠小	S32	68	
6	沢山小	S35	65	●
7	浦賀小	S35	65	●
8	浦郷小	S38	62	●
9	汐入小	S38	62	●
10	坂本中	S38	62	●
11	船越小	S40	60	●
12	鴨居中	S41	59	●
13	田浦中	S41	59	●
14	馬堀中	S41	59	●
15	山崎小	S42	58	●
16	大津小	S42	58	
17	北下浦中	S42	58	●
18	森崎小	S43	57	
19	久里浜小	S43	57	
20	鶴久保小	S44	56	
21	公郷中	S44	56	●
22	明浜小	S45	55	
23	浦賀中	S45	55	●
24	馬堀小	S46	54	
25	北下浦小	S46	54	
26	武山小	S46	54	
27	鴨居中	S46	54	●
28	栗田小	S47	53	●
29	池上中	S47	53	
30	久里浜中	S47	53	
31	公郷小	S48	52	
32	城北小	S48	52	
33	高坂小	S48	52	●
34	岩戸小	S48	52	●
35	不入斗中	S48	52	
36	鷹取小	S49	51	●
37	望洋小	S49	51	●
38	大楠小	S49	51	●
39	武山中	S49	51	
40	追浜小	S50	50	●
41	津久井小	S50	50	
42	長井小	S50	50	

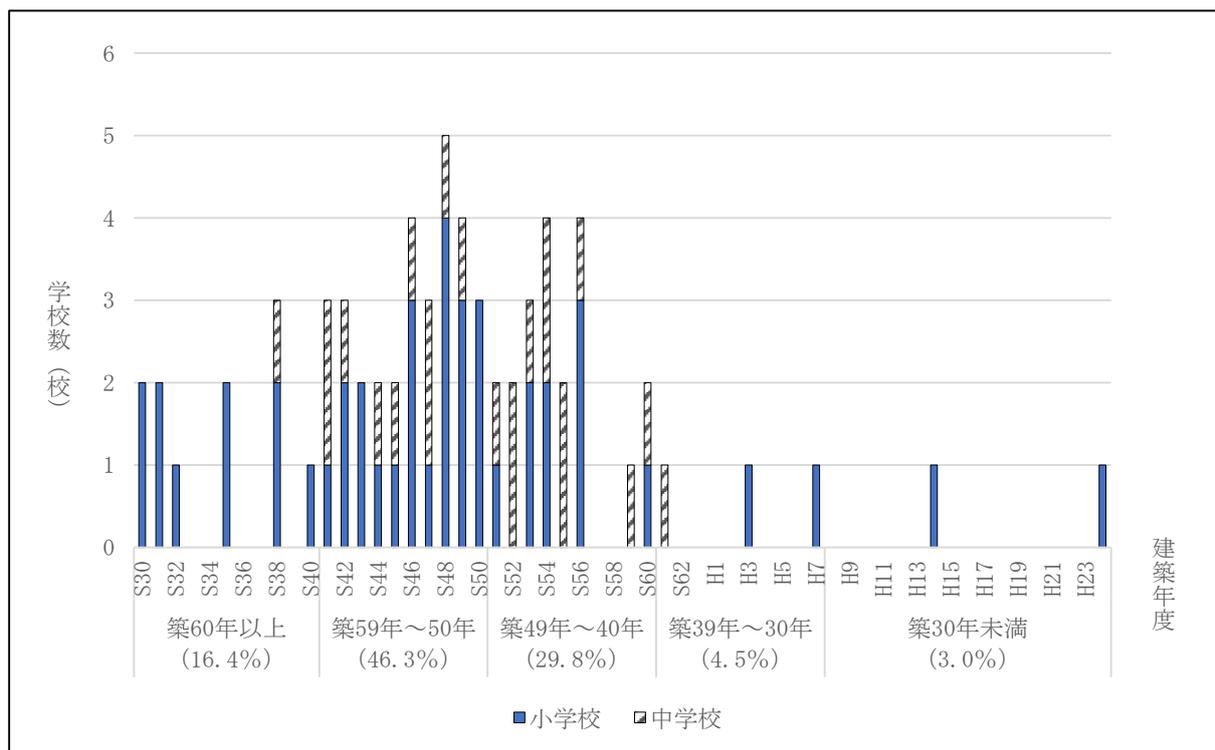
※経過年数が50年以上の校舎のある小・中学校を経過年数の長い順番で記載

※経過年数が60年以上の小・中学校を網掛け

※経過年数が異なる学校施設が混在する場合は、最も古い学校施設の経過年数を記載

■市立小・中学校の築年数ごとの学校数

(令和7年5月1日現在)



3 地域ごとの課題

小・中学校が抱える課題を学校ごとに捉えるだけでなく、行政センター区域、中学校区域の課題として捉え、全市的な視点から教育環境の整備に向けた検討を行うことが必要です。

■地域別課題一覧

(令和7年5月1日現在)

行政区	学校規模	通学区域		学校施設	
	小規模	遠距離 (飛び地を含む)	小中一貫 ブロック 不一致	老朽化 (築60年以上)	レッドゾーン※2
追浜	追浜小 鷹取中			夏島小 浦郷小	追浜小 夏島小 浦郷小 鷹取小 鷹取中
田浦	長浦小※1 田浦中	長浦小 田浦中		船越小	船越小 長浦小 田浦中
逸見 本庁	逸見小 沢山小 桜小 汐入小 豊島小 坂本中 不入斗中 常葉中			逸見小 沢山小 汐入小 田戸小 豊島小 坂本中	逸見小 沢山小 汐入小 豊島小 坂本中
衣笠	公郷中 池上中	衣笠小	公郷中 大矢部中	衣笠小	公郷中 大矢部中
大津	馬堀小 望洋小 馬堀中	馬堀小 馬堀中 (望洋小)	大津中		山崎小※1 根岸小 走水小 望洋小 馬堀中
浦賀	小原台小 鴨居小 高坂小 鴨居中	浦賀中	浦賀中	浦賀小	大塚台小※1 浦賀小 小原台小 鴨居小 高坂小 浦賀中 鴨居中
久里浜	岩戸中	明浜小 久里浜中	岩戸中 久里浜中 神明中		岩戸小 神明中 岩戸中
北下浦	北下浦小 野比中 北下浦中	(野比中)	野比中 長沢中		粟田小※1 野比東小 野比中 北下浦中 長沢中
西	長井小 富士見小 荻野小 長井中 武山中 大楠中	武山小 荻野小 大楠小 大楠中	武山中		大楠小 長井中 大楠中

※1 行政区の分類を学校の所在地ではなく、小中一貫教育ブロックを基本として記載

※2 レッドゾーンについては、敷地の一部でも該当している学校を記載

■課題の概要

(令和7年5月1日現在)

行政区	中学校区	小学校区	課題の概要
追浜	追浜中	追浜小 夏島小 浦郷小	<ul style="list-style-type: none"> 追浜小は6学級で小規模校に該当している 夏島小は築70年、浦郷小は築62年で建て替え時期が迫っている 追浜小、夏島小は敷地の一部、浦郷小は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある
	鷹取中	鷹取小	<ul style="list-style-type: none"> 鷹取小は令和10年度に11学級となり小規模校に該当する見込み 鷹取小は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある 鷹取中は6学級で小規模校に該当している 鷹取中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある
田浦	田浦中	船越小 長浦小※	<ul style="list-style-type: none"> 長浦小は10学級で小規模校に該当している 長浦小は通学距離が適正な通学距離を超える町丁目がある 船越小は令和8年度に11学級となり小規模校に該当する見込み 船越小は築60年で建て替え時期が迫っている 船越小は建物の一部、長浦小、田浦中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある 田浦中は10学級で小規模校に該当している 田浦中は通学距離が適正な通学距離を超える町丁目がある
逸見 本庁	坂本中	逸見小 沢山小 桜小 汐入小	<ul style="list-style-type: none"> 汐入小は令和10年度に複式学級に該当する見込み 沢山小は令和11年度に複式学級に該当する見込み 逸見小は築69年、沢山小は築65年、汐入小は築62年で建て替え時期が迫っている 逸見小、沢山小、汐入小はそれぞれ6学級、桜小は11学級と同一中学校区の4小学校が全て小規模校に該当している 坂本中は9学級で小規模校に該当している 逸見小は敷地の一部、沢山小、汐入小は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある 坂本中は築62年で建て替え時期が迫っている 坂本中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある
	常葉中	諏訪小 田戸小	<ul style="list-style-type: none"> 田戸小は令和10年度に11学級となり小規模校に該当する見込み 田戸小は築69年で建て替え時期が迫っている
	不入斗中	豊島小 鶴久保小	<ul style="list-style-type: none"> 豊島小は11学級で小規模校に該当している 豊島小は築70年で建て替え時期が迫っている 豊島小は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある 常葉中は9学級で小規模校に該当している 不入斗中は11学級で小規模校に該当している

行政区	中学校区	小学校区	課題の概要
衣笠	公郷中	公郷小	<ul style="list-style-type: none"> ・公郷中は10学級で小規模校に該当している ・公郷中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・公郷中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある（森崎小）
	池上中	池上小	<ul style="list-style-type: none"> ・池上中は9学級で小規模校に該当している
	衣笠中	城北小 衣笠小	<ul style="list-style-type: none"> ・衣笠小は令和12年度に11学級となり小規模校に該当する見込み ・衣笠小は通学距離が適正な通学距離を超える町丁目がある ・衣笠小は築68年で建て替え時期が迫っている ・衣笠中は令和8年度に11学級となり小規模校に該当する見込み
	大矢部中	大矢部小 森崎小	<ul style="list-style-type: none"> ・大矢部中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・大矢部中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある（衣笠小）
大津	大津中	山崎小※ 大津小 根岸小	<ul style="list-style-type: none"> ・山崎小は敷地の一部、根岸小は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・大津小は令和13年度に11学級となり小規模校に該当する見込み ・大津中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある（大塚台小）
	馬堀中	馬堀小 望洋小	<ul style="list-style-type: none"> ・馬堀小は11学級、望洋小は8学級と同一中学校区の2小学校が全て小規模校に該当している ・望洋小は通学区域に飛び地がある ・望洋小は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・馬堀中小は通学距離が適正な通学距離を超える町丁目がある ・馬堀中は7学級で小規模校に該当している ・馬堀中は通学距離が適正な通学距離を超える町丁目がある ・馬堀中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある
浦賀	浦賀中	大塚台小※ 浦賀小 高坂小	<ul style="list-style-type: none"> ・大塚台小は令和11年度に11学級となり小規模校に該当する見込み ・浦賀小は令和12年度に11学級となり小規模校に該当する見込み ・浦賀中は通学距離が適正な通学距離を超える町丁目がある ・浦賀小は築65年で建て替え時期が迫っている ・高坂小は11学級で小規模校に該当している ・大塚台小、浦賀小は敷地の一部、高坂小は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・浦賀中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・浦賀中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある（望洋小）

行政区	中学校区	小学校区	課題の概要
浦賀	鴨居中	小原台小 鴨居小	<ul style="list-style-type: none"> ・小原台小、鴨居小はそれぞれ 11 学級と同一中学校区の 2 小学校が全て小規模校に該当している ・小原台小は建物の一部、鴨居小は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・鴨居中は 11 学級で小規模校に該当している ・鴨居中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある
久里浜	岩戸中	岩戸小	<ul style="list-style-type: none"> ・岩戸小は令和 10 年度に 11 学級となり小規模校に該当する見込み ・岩戸小は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・岩戸中は 6 学級で小規模校に該当している ・岩戸中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある（栗田小） ・岩戸中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある
	久里浜中	久里浜小 明浜小	<ul style="list-style-type: none"> ・明浜小は通学距離が適正な通学距離を超える町丁目がある ・久里浜中は通学距離が適正な通学距離を超える町丁目がある ・久里浜中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある（大矢部小、大塚台小、神明小）
	神明中	神明小	<ul style="list-style-type: none"> ・神明小は令和 13 年度に 11 学級となり小規模校に該当する見込み ・神明中は令和 13 年度に 11 学級となり小規模校に該当する見込み ・神明中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・神明中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある（久里浜小、明浜小）
北下浦	野比中	栗田小※ 野比東小	<ul style="list-style-type: none"> ・栗田小は令和 11 年度に 11 学級となり小規模校に該当する見込み ・栗田小、野比東小は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・野比東小は令和 13 年度に 11 学級となり小規模校に該当する見込み ・野比中は 9 学級で小規模校に該当している ・野比中は通学区域に飛び地がある ・野比中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある（野比小） ・野比中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある

行政区	中学校区	小学校区	課題の概要
北下浦	長沢中	野比小	<ul style="list-style-type: none"> ・長沢中は8学級で小規模校に該当している ・長沢中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・長沢中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある（北下浦小、津久井小）
	北下浦中	北下浦小 津久井小	<ul style="list-style-type: none"> ・北下浦小は8学級で小規模校に該当している ・津久井小は令和11年度に11学級となり小規模校に該当する見込み ・北下浦中は7学級で小規模校に該当している ・北下浦中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある
西	長井中	長井小	<ul style="list-style-type: none"> ・長井小は11学級で小規模校に該当している ・長井中は6学級で小規模校に該当している ・長井中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある
	武山中	富士見小 武山小	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見小は8学級で小規模校に該当している ・武山小は令和13年度に11学級となり小規模校に該当する見込み ・武山小は通学距離が適正な通学距離を超える町丁目がある ・武山中は9学級で小規模校に該当している ・武山中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある（荻野小）
	大楠中	荻野小 大楠小	<ul style="list-style-type: none"> ・荻野小は6学級で小規模校に該当している ・大楠小は令和13年度に11学級となり小規模校に該当する見込み ・荻野小、大楠小は通学距離が適正な通学距離を超える町丁目がある ・大楠小は敷地の一部、大楠中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際に制限が生じる可能性がある ・大楠中は9学級で小規模校に該当している ・大楠中は通学距離が適正な通学距離を超える町丁目がある

※行政区の分類を学校の所在地ではなく、小中一貫教育ブロックを基本として記載

第3章 教育環境整備の取り組み

1 手順

(1) 視点

教育環境整備に関する具体的な検討および実施に当たっては、地域ごとの将来像を見据えながら、学校関係者や保護者、地域の方々と協働して、それぞれの立場から、「現在と未来の子どもたちのよりよい教育環境のために」という共通の視点で協議をし、合意形成を図りながら進めていきます。

また、小中一貫教育推進の観点、小・中学校の建て替え時期や立地等の課題も踏まえて、将来的にどのような学校配置が望ましいのかという観点から検討していきます。

(2) 検討組織

教育環境の適正な整備を図るため、教育委員会は附属機関である「横須賀市立小中学校適正配置審議会」（以下、「適正配置審議会」）に「①諮問」します。

適正配置審議会は、地域ごとに学校関係者、保護者、地域の方々と構成する地域別小中学校教育環境整備検討協議会（以下、「地域別協議会」）に「②意見聴取」を行い、審議を行います。

教育委員会は、「適正配置審議会」からの「③答申」を受けて、教育環境整備についての「④方策の決定」を行います。

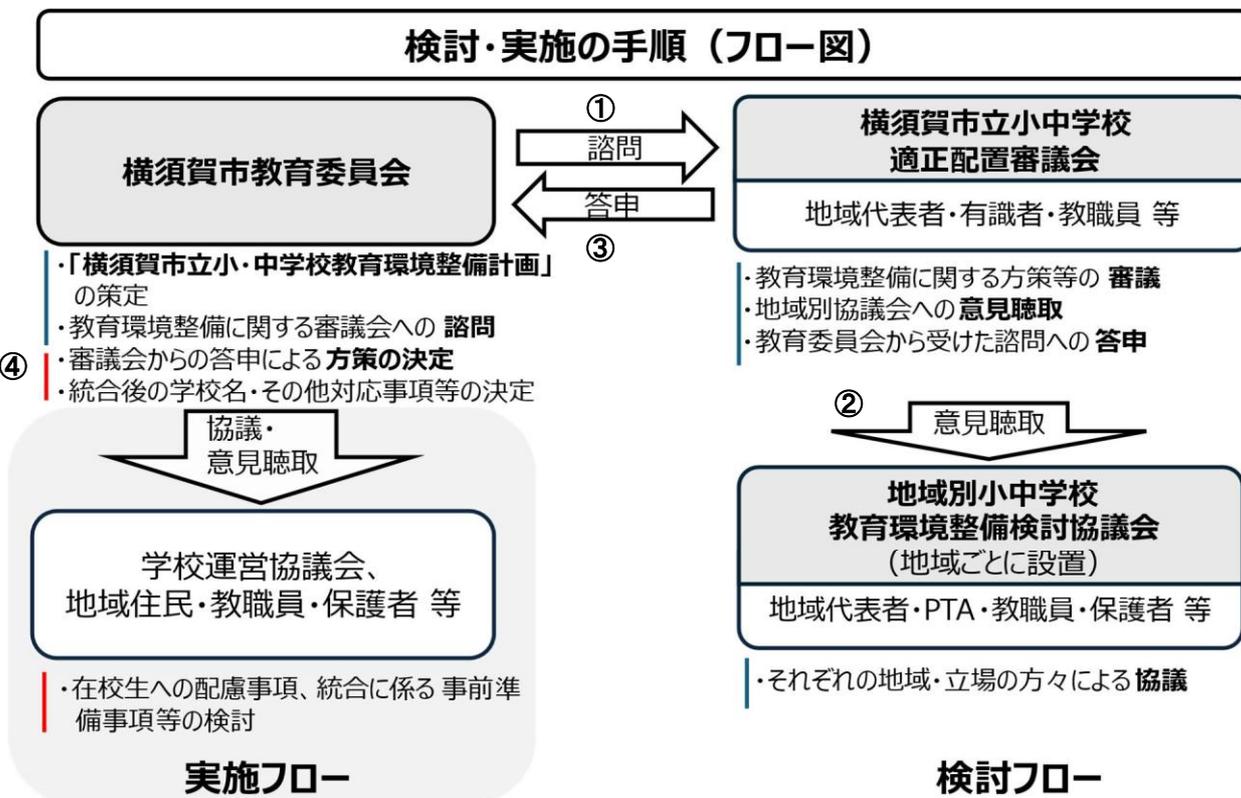
(3) 実施の手順

具体的な方策として学校の統合が教育委員会で決定された後は、より円滑な実施に向けて、学校関係者や保護者、地域の方々と、在校生への配慮事項の協議を行います。また、統合に向けた学校間の交流、事前の準備などについても検討していきます。

その際には、該当校の学校運営協議会等から意見を聴取し、学校名や、その他統合に当たって必要な事項については、教育委員会において決定します。

また、その他の方策が決定された場合においても、同様に、関係者への配慮を行いながら検討していきます。

■ 検討・実施の手順



2 検討のための基準

「横須賀市立小・中学校の教育環境整備に関する基本方針」において、検討のための基準は、学校施設の課題については築 60 年、学校規模については、小学校で 11 学級以下または 31 学級以上の場合、中学校で 5 学級以下または 31 学級以上の場合としています。

また、通学距離については、小学校で 2 キロメートル程度を超える場合、中学校で 3 キロメートル程度を超える場合としています。

■教育環境整備の検討のための基準

	小学校	中学校
学校施設	●築年数が 60 年以上の場合	
学校規模	<ul style="list-style-type: none"> ●11 学級以下の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えができない学年がある。 ●31 学級以上の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 学級以上となる学年がある。 ・特別教室の割り振りなど、施設面での制約が出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●5 学級以下の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えができない学年がある。 ・ 10 科目の教員が規定上、配置できない。 ●31 学級以上の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 学級以上となる学年がある。 ・特別教室、体育館の割り振りや部活動の場所の確保など、施設面での制約が出る。
通学距離	●2 キロメートル程度を超える場合	●3 キロメートル程度を超える場合

出典：横須賀市立小・中学校の教育環境整備に関する基本方針

検討地域・対象校の決定については、検討のための基準を原則として、全市および各地域の将来像を見据えながら、小規模校対策だけではなく、学校施設の課題や配置など、学校を取り巻く状況を総合的に判断して行います。

3 教育環境整備の方策

「横須賀市立小・中学校の教育環境整備に関する基本方針」において、それぞれの課題の解決に向けた教育環境整備を行う際に、以下のような方策を検討することとしています。

①学校施設建て替え等の検討

学校施設の課題への対応として、施設の建て替えを含めた方策を検討します。

検討に当たっては、法令による制限や学校の敷地面積、レッドゾーン等に十分留意します。

また、その地域の現状や将来像などを見据えながら、適正な学校規模・配置となるよう検討を進めます。

②通学区域の見直し

小規模校、大規模校、遠距離通学への対応として、通学区域の見直しを行うことによる解決を検討します。

見直しに当たっては、自治会や行政センター所管区域、小中一貫教育ブロック等を念頭に入れて検討します。

③隣接校との統合

小規模校への対応として、通学区域の見直しでは解決できない場合は、隣接校との統合を検討します。

閉校となった学校の跡地利用については、全市的なまちづくりの視点で、本市の「未利用地等の土地利用に関する取扱方針」に基づき、検討を行います。

なお、学校は地域に根付き、コミュニティの核としての役割を担ってきたことから、跡地利用の検討は、地域の意見を丁寧に伺いながら進めていきます。

④学校の分離新設

大規模校への対応として、通学区域の見直しでは解決できず、かつ用地の確保が可能な場合は、学校の分離新設を検討します。

○規模および配置の適正化が困難な場合の方策

一方で、教育環境整備の対象となる学校の状況等により、検討の結果として、実施が困難と判断される場合もあります。そのような場合には、「小規模特別認定校」の導入により小規模校の運営を継続することや、公共交通機関の通学定期券代等の助成により遠距離通学への支援を行うことなどを検討します。それらの導入の是非については別途、教育委員会で検討を行います。

4 検討地域・対象校

(1) 検討地域・対象校

各地域や小・中学校には複数の課題が存在する場合や、将来的に課題が生じる見込みがある場合もあります。これらの地域の課題は、一度の教育環境整備の実施では解決が困難なため、段階的に進めていく必要があります。

令和7年度から、後期計画における検討地域・対象校である、逸見・中央地域の逸見小学校・沢山小学校・桜小学校・汐入小学校（逸見行政センター区・本庁地区・坂本中学校区）について、教育環境整備に係る方策を検討しています。

令和8年度（2026年度）以降については、児童・生徒・学級数の推移や学校施設の状態等を勘案し、現在取り組んでいる逸見・中央地域に加え、新たに2地域（鴨居地域、武山・大楠地域）について、教育環境整備に係る方策を検討します。

また、校舎の老朽化など、学校施設に課題のある学校については、建て替えを含めた方策の検討を順次行います。検討に当たっては、当該地域の現状や将来像などを見据えながら、適正な学校規模・学校配置となるよう検討を進めます。

■検討スケジュール



■学校施設の課題解消に係る検討対象校（築60年以上）

(令和7年時点)

学校名	建築年度	経過年数	レッドゾーン	その他の課題
夏島小学校	S30	70	敷地の一部	—
豊島小学校	S30	70	敷地・建物の一部	小規模校
逸見小学校	S31	69	敷地の一部	小規模校
田戸小学校	S31	69	—	—
衣笠小学校	S32	68	—	—
沢山小学校	S35	65	敷地・建物の一部	小規模校
浦賀小学校	S35	65	敷地の一部	—
浦郷小学校	S38	62	敷地・建物の一部	小規模校
汐入小学校	S38	62	敷地・建物の一部	小規模校
坂本中学校	S38	62	敷地・建物の一部	小規模校
船越小学校	S40	60	敷地・建物の一部	—

(2) 検討地域・対象校の概要

ア 田浦地域(前期計画において田浦小と長浦小を統合)

田浦地域では、田浦中学校区の小学校2校(田浦小・長浦小)の小規模化が進み、田浦小は平成29年度(2017年度)から、長浦小は平成27年度(2015年度)から全学年が単学級となっていました。

田浦小については、令和4年度(2022年度)時点で校舎の築年数が69年と市内で最も古く、建て替えを検討する時期も迫っていましたが、防災や周辺道路など、多くの課題がありました。

こうした状況を踏まえ、両校の小規模解消を含めた教育環境の改善を目的に、検討が進められました。

地域別協議会や保護者および地域説明会での意見交換を経て、通学支援策や安全対策を講じて、令和7年(2025年)4月に田浦小は長浦小と統合しました。

■対象校の課題(統合前)

(令和4年5月1日時点)

学校名	小規模校	遠距離	小中一貫教育 ブロック不一致	老朽化 (築60年以上)	レッドゾーン
田浦小	● (6学級)	—	—	● (築69年)	●
長浦小	● (6学級)	—	—	—	●
船越小 (参考)	—	—	—	—	●
田浦中 (参考)	—	●	—	—	●

■対象校の概要（統合前・統合後）

学 校 名	統合前（R6.5.1時点）								統合後（R7.5.1時点）				
	田浦小				長浦小				長浦小				
児童・生徒 学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	
	男	女	計		男	女	計		男	女	計		
1年	8	5	13	1	11	7	18	1	18	17	35	1	
2年	11	12	23	1	9	15	24	1	18	12	30	1	
3年	13	8	21	1	11	8	19	1	18	25	43	2	
4年	13	12	25	1	11	17	28	1	20	11	31	2	
5年	7	14	21	1	3	14	17	1	23	27	50	2	
6年	11	11	22	1	21	10	31	1	4	25	29	2	
特別支援	(15)			3	(3)			2	(15)			3	
計	125			9	137			8	218			13	
教 員 数	16人				14人				19人				
学 校 施 設	校地面積	7,338.04 m ²				17,492.72 m ²				17,492.72 m ²			
	プール	なし				あり				あり			
設置年月日	T12年（1923年） 4月1日				M6年（1873年） 6月5日				M6年（1873年） 6月5日				
建 築 年 度	S28年（1953年）				H3年（1991年）				H3年（1991年）				

※カッコ内は、特別支援学級の再掲

イ 走水・馬堀地域（前期計画において走水小と馬堀小を統合）

走水・馬堀地域の2つの中学校区（大津中・馬堀中）のうち、馬堀中学校区に所在する3つの小学校（走水小・馬堀小・望洋小）の小規模化が進んでいました。

特に走水小は令和4年度（2022年度）時点で児童数が48人と市内で最も小規模となっており、隣接する馬堀小も一部の学年で単学級を抱えるなど、安定した教育環境の確保が課題となっていました。

こうした状況を踏まえ、両校の小規模解消を含めた教育環境の改善を目的に、検討が進められました。

地域別協議会や保護者および地域説明会での意見交換を経て、通学支援や通学の安全などの課題を整理し、令和7年（2025年）4月に走水小は馬堀小と統合しました。

■対象校の課題（統合前）

（令和4年5月1日時点）

学校名	小規模校	遠距離	小中一貫教育 ブロック不一致	老朽化 （築60年以上）	レッドゾーン
走水小	● (6学級)	—	—	—	●
馬堀小	● (11学級)	—	—	—	—
望洋小 (参考)	—	● (飛び地)	—	—	●
馬堀中 (参考)	—		● (※)	—	●

※馬堀中の小中一貫教育ブロック不一致は、望洋小の一部が浦賀中に指定されていることによるもの

■対象校の概要（統合前・統合後）

学 校 名	統合前（R6.5.1時点）								統合後（R7.5.1時点）				
	走水小				馬堀小				馬堀小				
児童・生徒 学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	
	男	女	計		男	女	計		男	女	計		
1年	3	3	6	1	23	14	37	1	22	16	38	2	
2年	2	1	3	1	27	18	45	2	26	14	40	1	
3年	2	0	2	1	20	25	45	2	28	19	47	2	
4年	2	2	4	1	27	19	46	2	21	25	46	2	
5年	6	3	9	1	17	16	33	2	25	23	48	2	
6年	4	0	4	1	31	26	57	2	21	18	39	2	
特別支援	(6)			2	(17)			5	(25)			4	
計	28			8	263			16	258			15	
教 員 数	12 人				22 人				22 人				
学 校 施 設	校地面積	8,668.82 m ²				17,599.59 m ²				17,599.59 m ²			
	プール	なし				あり				あり			
設置年月日	M6年（1873年） 9月1日				S26年（1951年） 10月1日				S26年（1951年） 10月1日				
建 築 年 度	S49年（1974年）				S46年（1971年）				S46年（1971年）				

※カッコ内は、特別支援学級の再掲

ウ 逸見・中央地域（後期計画）

逸見・中央地域の坂本中学校区に所在する4つの小学校（逸見小・沢山小・桜小・汐入小）全てで小規模化が進んでいます。特に逸見小・沢山小・汐入小の3校は小規模化が著しく、全ての学年が単学級となっています。桜小についても単学級の学年が存在する小規模校となっており、令和12年度（2030年度）には、全ての学年が単学級になる見込みです。

また、学校施設の老朽化も進んでおり、逸見小は築69年、沢山小は築65年、汐入小と坂本中が築62年で建て替えを検討する時期が来ているため、規模の適正化と併せて検討する必要があります。

なお、不入斗中学校区の豊島小も小規模化が進んでおり、学校施設も築70年となっています。

そこで、まずは、小規模化と学校施設の老朽化が進んでいる坂本中学校区の4つの小学校を対象とした教育環境整備に向けて、令和7年度（2025年度）から検討を開始しています。

■対象校の課題

（令和7年5月1日現在）

学校名	小規模校	遠距離	小中一貫教育 ブロック不一致	老朽化 (築60年以上)	レッドゾーン
逸見小	● (6学級)	—	—	● (築69年)	●
沢山小	● (6学級)	—	—	● (築65年)	●
桜小	● (11学級)	—	—	—	—
汐入小	● (6学級)	—	—	● (築62年)	●
豊島小 (参考)	● (11学級)	—	—	● (築70年)	●
鶴久保小 (参考)	—	—	—	—	—
坂本中 (参考)	—	—	—	● (築62年)	●
不入斗中 (参考)	—	—	—	—	—

■対象校の現状

(令和7年5月1日現在)

学校名		逸見小			沢山小			桜小			汐入小						
児童・学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	児童数			学級数					
	男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		
	1年	6	7	13	1	5	9	14	1	14	15	29	1	6	6	12	1
	2年	7	0	7	1	7	5	12	1	21	16	37	2	5	8	13	1
	3年	9	8	17	1	5	6	11	1	22	19	41	2	6	8	14	1
	4年	5	2	7	1	6	7	13	1	23	20	43	2	7	6	13	1
	5年	7	7	14	1	12	7	19	1	19	25	44	2	8	9	17	1
	6年	5	4	9	1	4	9	13	1	24	25	49	2	9	6	15	1
	特別支援	(7)			3	(8)			2	(10)			3	(12)			4
	計	67			9	82			8	243			14	84			10
教員数		17人			15人			25人			15人						
学校施設	校地面積	5,574.17 m ²			6,282.46 m ²			13,875.70 m ²			7,441.76 m ²						
	プール	なし			なし			あり			なし						
設置年月日		M6年(1873年) 5月9日			M44年(1911年) 11月1日			H11年(1999年) 4月1日			M5年(1872年) 5月8日						
建築年度		S31年(1956年)			S35年(1960年)			S56年(1981年)			S38年(1963年)						

学校名		豊島小(参考)			鶴久保小(参考)			坂本中(参考)			不入斗中(参考)						
児童・学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	生徒数			学級数					
	男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		
	1年	26	17	43	2	37	22	59	2	48	51	99	3	51	52	103	3
	2年	24	27	51	2	31	39	70	2	51	50	101	3	70	69	139	4
	3年	24	19	43	2	41	38	79	3	40	52	92	3	70	58	128	4
	4年	22	16	38	1	43	32	75	3	\			\				
	5年	27	18	45	2	46	40	86	3								
	6年	22	25	47	2	48	24	72	2								
	特別支援	(21)			5	(23)			6							(27)	
	計	267			16	441			21	292			14	370			13
教員数		24人			32人			34人			25人						
学校施設	校地面積	10,112.40 m ²			21,410.46 m ²			55,227.23 m ²			27,068.82 m ²						
	プール	あり			あり			あり			あり						
設置年月日		M5年(1872年) 6月22日			M41年(1908年) 9月1日			S22年(1947年) 5月5日			S22年(1947年) 5月5日						
建築年度		S30年(1955年)			S44年(1969年)			S38年(1963年)			S48年(1973年)						

※カッコ内は、特別支援学級の再掲

■将来推計

(令和7年5月推計)

学校名		R7年度 (実人数)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
逸見小	児童数	67	70	69	72	67	72	70
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6
		特支	3	3	3	3	3	3
沢山小	児童数	82	79	68	62	57	51	48
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6
		特支	2	2	2	2	2	2
桜小	児童数	243	233	213	188	176	158	146
	学級数	通常	11	10	9	8	7	6
		特支	3	3	3	3	3	3
汐入小	児童数	84	79	66	62	63	60	56
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6
		特支	4	4	4	4	4	4
豊島小 (参考)	児童数	267	252	251	257	248	218	209
	学級数	通常	11	11	11	11	10	9
		特支	5	5	5	5	5	5
鶴久保小 (参考)	児童数	441	429	390	374	338	329	310
	学級数	通常	15	15	14	13	12	12
		特支	6	6	6	6	6	6
坂本中 (参考)	生徒数	292	286	282	255	254	232	231
	学級数	通常	9	9	9	9	9	9
		特支	5	5	5	5	5	5
不入斗中 (参考)	生徒数	370	348	313	307	296	291	274
	学級数	通常	11	11	10	10	9	9
		特支	2	2	2	2	2	2

※カッコ内は、特別支援学級の再掲（学級数は令和7年度をスライドした数値）

※汐入小学校は令和10年度以降、法令上、複式学級となることが見込まれる学年があります。

※学級数は、令和8年度は1年生が35人学級、2・3年生が40人学級、令和9年度は1・2年生が35人学級、3年生が40人学級、令和10年度以降は全学年35人学級とする。

エ 鴨居地域（後期計画）

鴨居中学校区に所在する2校（鴨居小、小原台小）は、両校ともに小規模校で、単学級となる学年が存在しています。特に鴨居小は、児童数の推計によると、令和13年（2031年）には現在の約6割まで児童数が減少し、全学年が単学級となる見込みです。

このことから、後期計画においては、急速な小規模化が課題となっている鴨居地域における学校規模の適正化のため、鴨居小と小原台小の教育環境整備について検討を開始します。

■対象校の課題

（令和7年5月1日現在）

学校名	小規模校	遠距離	小中一貫教育 ブロック不一致	老朽化 (築60年以上)	レッドゾーン
小原台小	● (11学級)	—	—	—	●
鴨居小	● (11学級)	—	—	—	●
鴨居中 (参考)	● (11学級)	—	—	—	●

■対象校の概要

(令和7年5月1日現在)

学校名		小原台小			鴨居小				鴨居中（参考）			
児童・学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	児童数			学級数
	男	女	計		男	女	計		男	女	計	
1年	19	19	38	1	25	22	47	2	55	49	104	3
2年	29	24	53	2	18	24	42	2	75	72	147	4
3年	24	22	46	2	17	17	34	1	60	67	127	4
4年	26	21	47	2	25	18	43	2	\			
5年	32	31	63	2	24	25	49	2				
6年	27	30	57	2	22	26	48	2				
特別支援	(19)			5	(19)			4	(24)			5
計	304			16	263			15	378			16
教員数		28人			23人				33人			
学校	校地面積	17,548.47 m ²			25,638.90 m ²				24,972.21 m ²			
施設	プール	あり			あり				あり			
設置年月日		S52年(1977年) 4月1日			M6年(1873年) 7月6日				S29年(1954年) 4月1日			
建築年度		S51年(1976年)			S41年(1966年)				S46年(1971年)			

※カッコ内は、特別支援学級の再掲

■将来推計

(令和7年5月推計)

学校名			R7年度 (実人数)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
	小原台小	児童数		304	298	285	270	258	250
学級数		通常	11	12	12	11	10	10	9
		特支	5	5	5	5	5	5	5
鴨居小	児童数		263	243	224	210	200	183	162
	学級数	通常	11	10	9	8	8	7	6
		特支	4	4	4	4	4	4	4
鴨居中 (参考)	生徒数		378	347	303	281	259	243	241
	学級数	通常	11	10	9	9	9	9	9
		特支	5	5	5	5	5	5	5

※カッコ内は、特別支援学級の再掲（学級数は令和7年度をスライドした数値）

※学級数は、令和8年度は1年生が35人学級、2・3年生が40人学級、令和9年度は1・2年生が35人学級、3年生が40人学級、令和10年度以降は全学年35人学級とする。

オ 大楠・武山地域（後期計画）

西地区の武山中学校区と大楠中学校区に所在する4校（富士見小、武山小、荻野小、大楠小）で小規模化が進行しており、令和7年度（2025年度）現在、富士見小では半数以上の学年が単学級、荻野小では全学年が単学級となっています。

また、令和13年度（2031年度）の推計値では、武山小と大楠小は令和7年度（2025年度）の児童数の約7割に、富士見小は約6割にまで減少し、両校とも単学級となる学年が生じる見込みです。

このように、現状では適正規模校があっても、令和13年度（2031年度）の推計では4校全てが小規模校となることを見込まれています。

以上のことから、後期計画においては、当該地域の4小学校の教育環境整備について検討を始めます。

■対象校の課題

（令和7年5月1日現在）

学校名	小規模校	遠距離	小中一貫教育 ブロック不一致	老朽化 (築60年以上)	レッドゾーン
富士見小	● (8学級)	—	—	—	—
武山小	—	●	—	—	—
荻野小	● (6学級)	●	●	—	—
大楠小	—	●	—	—	●
武山中 (参考)	● (9学級)	—	●	—	—
大楠中 (参考)	● (9学級)	●	●	—	—

■対象校の概要

(令和7年5月1日現在)

学校名		富士見小				武山小				荻野小				大楠小			
児童・学級数		児童数			学級数												
		男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計	
1年		18	15	33	1	37	23	60	2	14	4	18	1	24	26	50	2
2年		18	19	37	1	41	26	67	2	12	8	20	1	32	29	61	2
3年		27	11	38	1	27	41	68	2	17	11	28	1	30	37	67	2
4年		27	14	41	2	35	27	62	2	11	15	26	1	39	35	74	3
5年		18	23	41	2	26	33	59	2	11	8	19	1	38	36	74	2
6年		27	5	32	1	32	30	62	2	21	16	37	1	39	32	71	3
特別支援		(24)			5	(30)			6	(24)			5	(22)			5
計		222			13	378			18	148			11	397			19
教員数		19人				26人				16人				28人			
学校	校地面積	19,544.09 m ²				35,434.75 m ²				20,080.63 m ²				11,943.87 m ²			
施設	プール	あり															
設置年月日		S50年(1975年) 4月1日				M24年(1891年) 4月4日				S57年(1982年) 4月1日				M30年(1897年) 9月1日			
建築年度		S55年(1980年)				S46年(1971年)				S55年(1980年)				S49年(1974年)			

学校名		武山中(参考)				大楠中(参考)				
児童・学級数		生徒数			学級数	生徒数			学級数	
		男	女	計		男	女	計		
1年		66	44	110	3	38	54	92	3	
2年		58	60	118	3	61	46	107	3	
3年		70	49	119	3	56	39	95	3	
4年		\			\			\		\
5年										
6年										
特別支援		(14)			3	(9)			2	
計		347			12	294			11	
教員数		28人				23人				
学校	校地面積	22,218.97 m ²				41,244.61 m ²				
施設	プール	あり				なし				
設置年月日		S22年(1947年) 10月10日				S22年(1947年) 5月5日				
建築年度		S49年(1974年)				S52年(1977年)				

※カッコ内は、特別支援学級の再掲

■将来推計

(令和7年5月推計)

学校名			R7年度 (実人数)	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
	富士見小	児童数		222	217	201	190	173	153
学級数		通常	8	10	9	8	7	6	6
		特支	5	5	5	5	5	5	5
武山小	児童数		378	374	359	340	317	288	255
	学級数	通常	12	12	12	12	12	12	11
		特支	6	6	6	6	6	6	6
荻野小	児童数		148	135	137	132	128	131	136
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6	6
		特支	5	5	5	5	5	5	5
大楠小	児童数		397	386	365	345	322	297	268
	学級数	通常	14	14	13	12	12	12	11
		特支	5	5	5	5	5	5	5
武山中 (参考)	生徒数		347	339	331	337	343	349	335
	学級数	通常	9	10	11	12	12	12	11
		特支	3	3	3	3	3	3	3
大楠中 (参考)	生徒数		294	280	252	239	232	218	193
	学級数	通常	9	9	8	7	6	6	6
		特支	2	2	2	2	2	2	2

※カッコ内は、特別支援学級の再掲（学級数は令和7年度をスライドした数値）

※学級数は、令和8年度は1年生が35人学級、2・3年生が40人学級、令和9年度は1・2年生が35人学級、3年生が40人学級、令和10年度以降は全学年35人学級とする。

《 参考資料 》

1 各行政センター区域の通学区域図および児童・生徒数推移

(1) 追浜行政センター区域

■通学区域図

小学校区(追浜小・夏島小・浦郷小・鷹取小)

約 1/20000



出典：政府統計の総合窓口（e-Stat）「令和2年国勢調査（境界データ）」

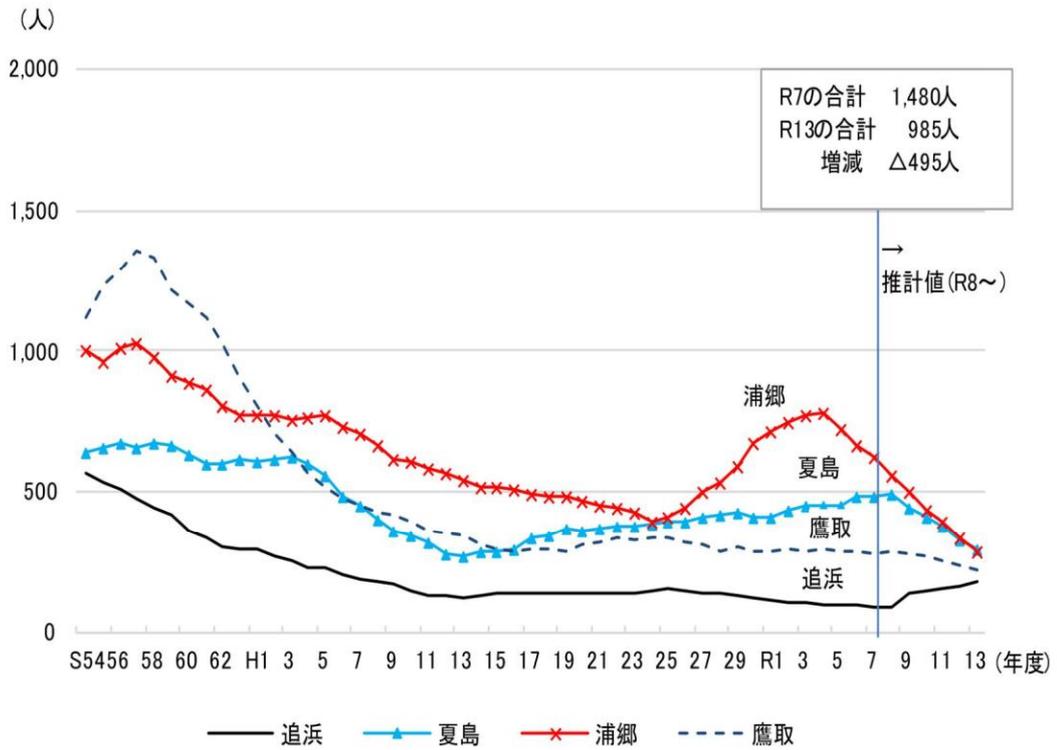
中学校区(追浜中・鷹取中)

約 1/20000

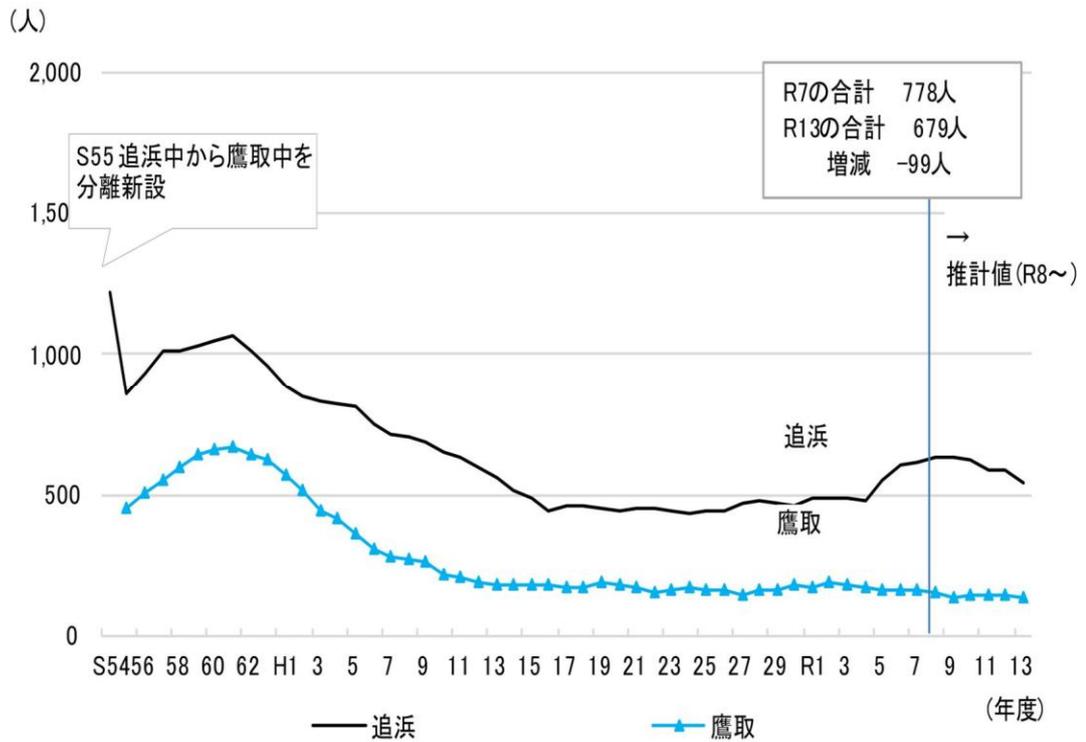


出典：政府統計の総合窓口（e-Stat）「令和2年国勢調査（境界データ）」

■児童数推移（追浜小・夏島小・浦郷小・鷹取小）



■生徒数推移（追浜中・鷹取中）



(2) 田浦行政センター区域

■通学区域図

小学校区(船越小・長浦小)

約 1/20000



出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat)「令和2年国勢調査(境界データ)」

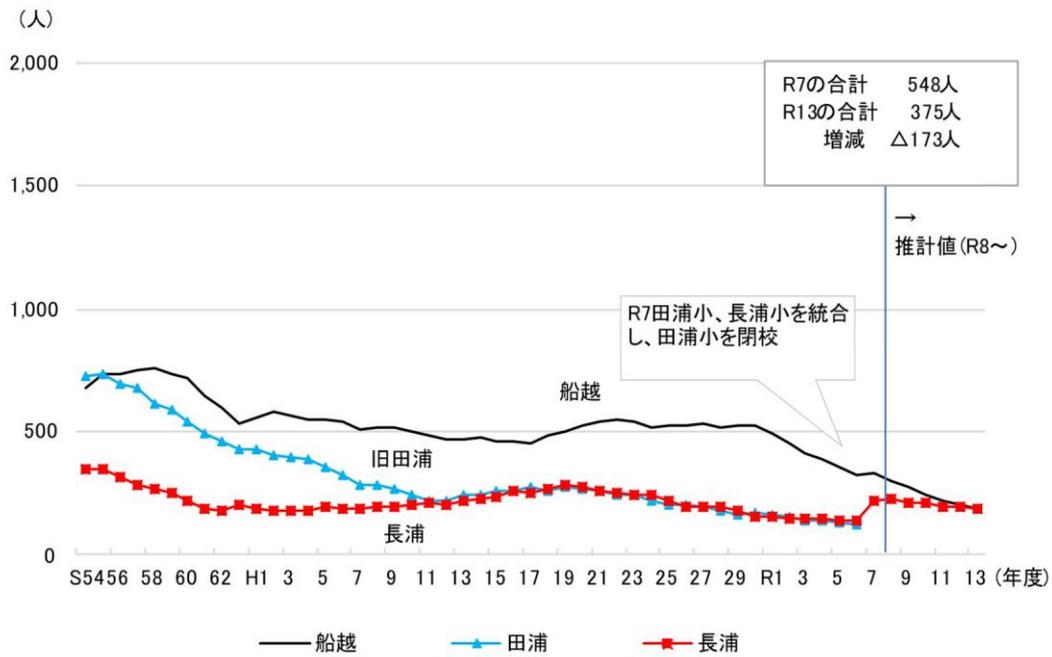
中学校区(田浦中)

約 1/20000

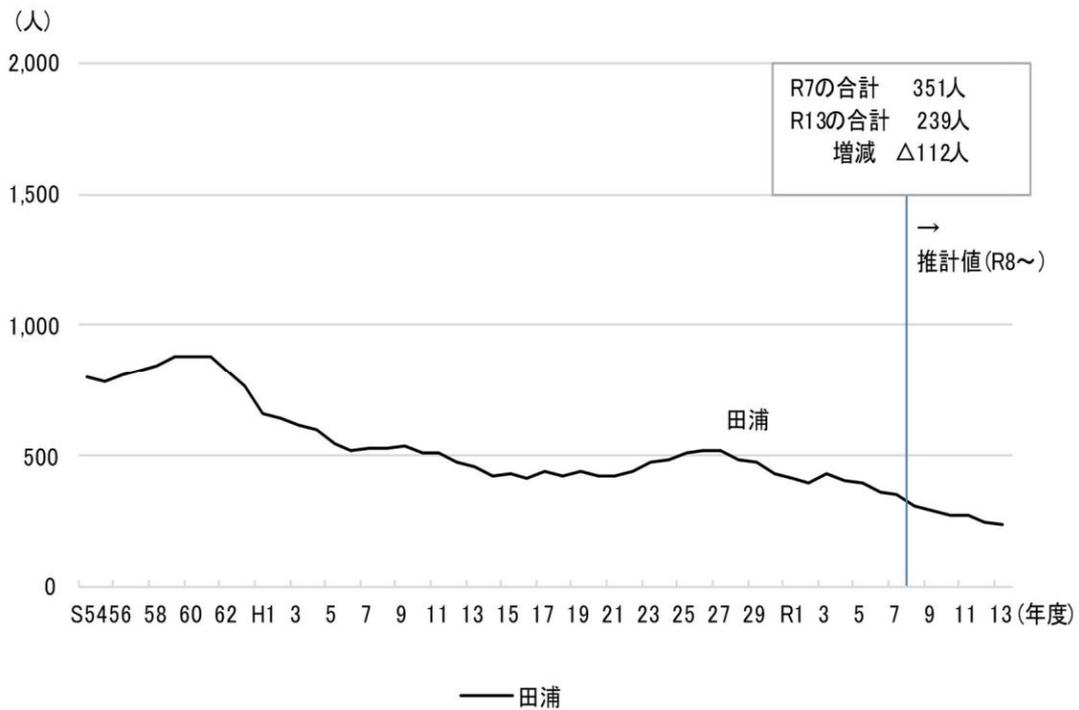


出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat)「令和2年国勢調査(境界データ)」

■児童数推移（船越小・長浦小）



■生徒数推移（田浦中）



(3) 逸見行政センター・本庁区域

■通学区域図

小学校区 (逸見小・沢山小・桜小・汐入小・諏訪小・田戸小・豊島小・鶴久保小)

約 1/30000



出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat)「令和2年国勢調査 (境界データ)」

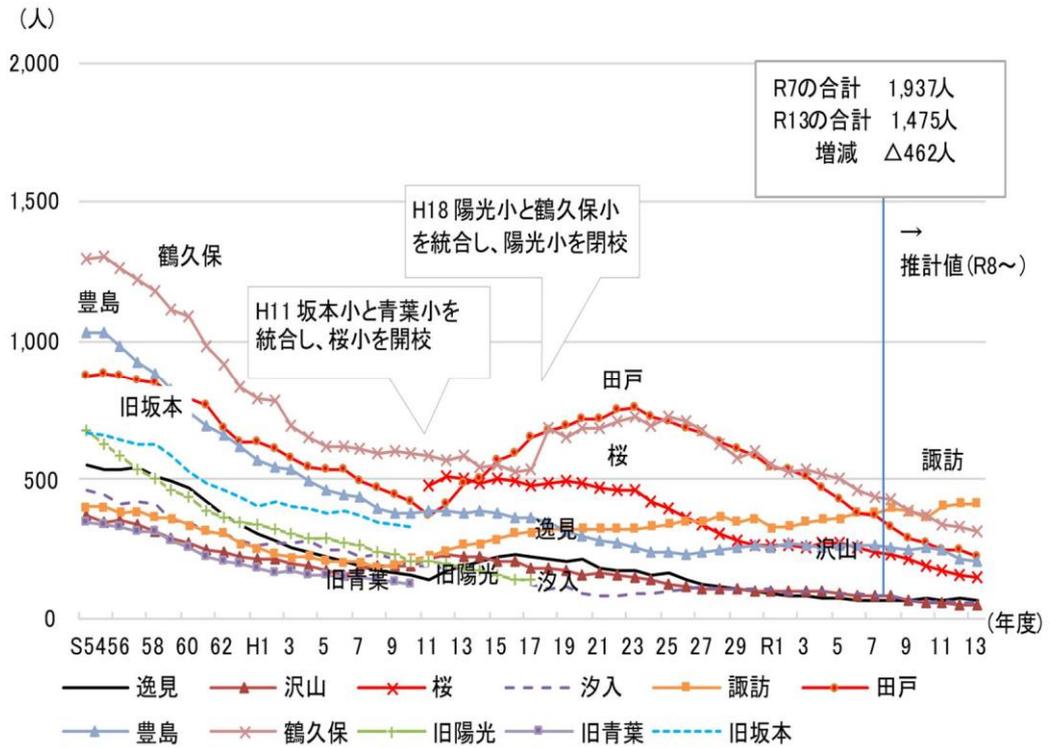
中学校区 (坂本中・不入斗中・常葉中)

約 1/30000

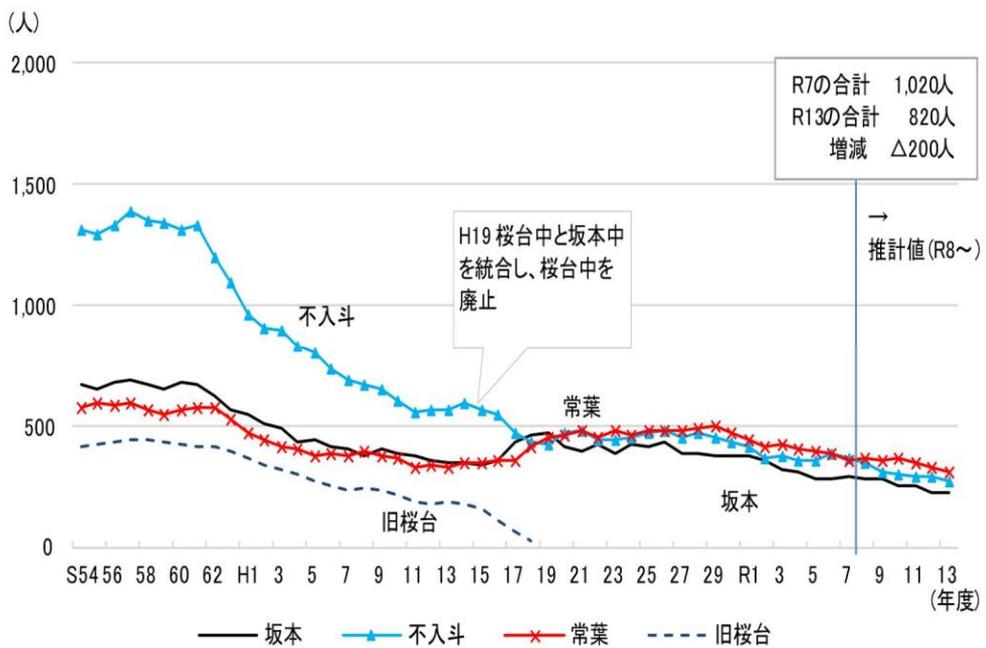


出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat)「令和2年国勢調査 (境界データ)」

■児童数推移（逸見小・沢山小・桜小・汐入小・諏訪小・田戸小・豊島小・鶴久保小）



■生徒数推移（坂本中・不入斗中・常葉中）



(4) 衣笠行政センター区域

■ 通学区域図

小学校区 (公郷小・池上小・城北小・衣笠小・大矢部小・森崎小)

約 1/32000



出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat) 「令和2年国勢調査 (境界データ)」

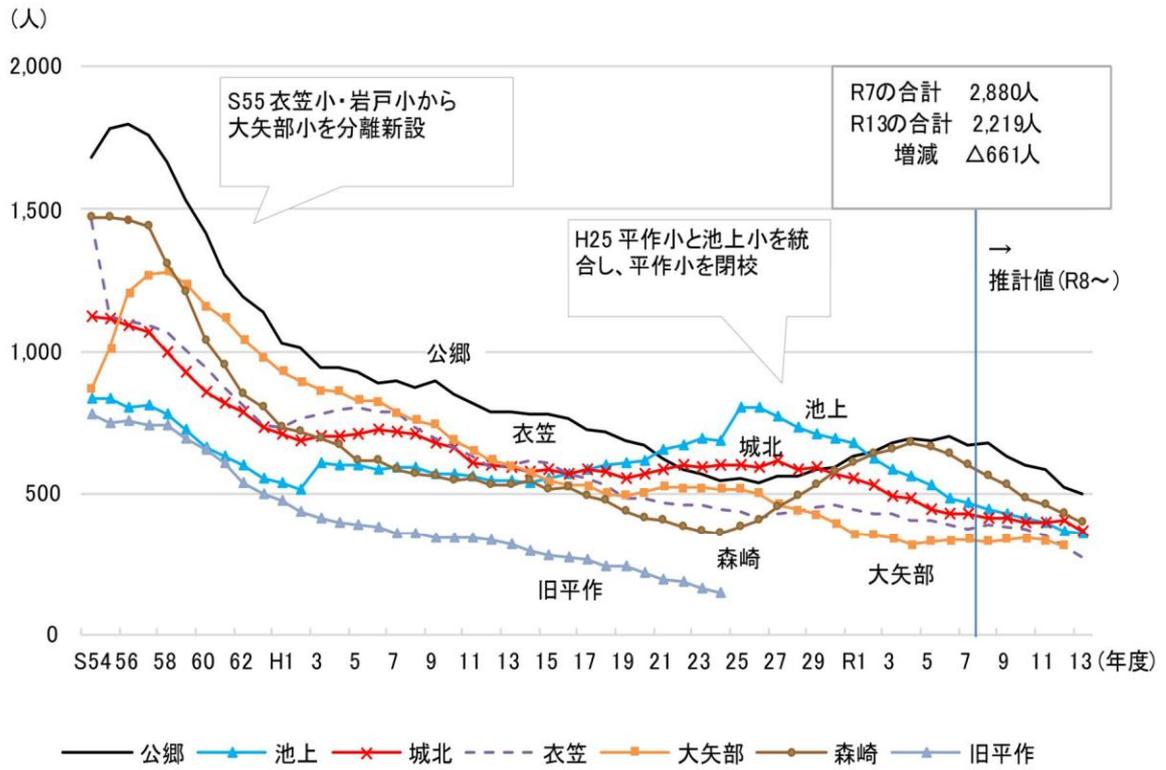
中学校区 (公郷中・池上中・衣笠中・大矢部中)

約 1/32000

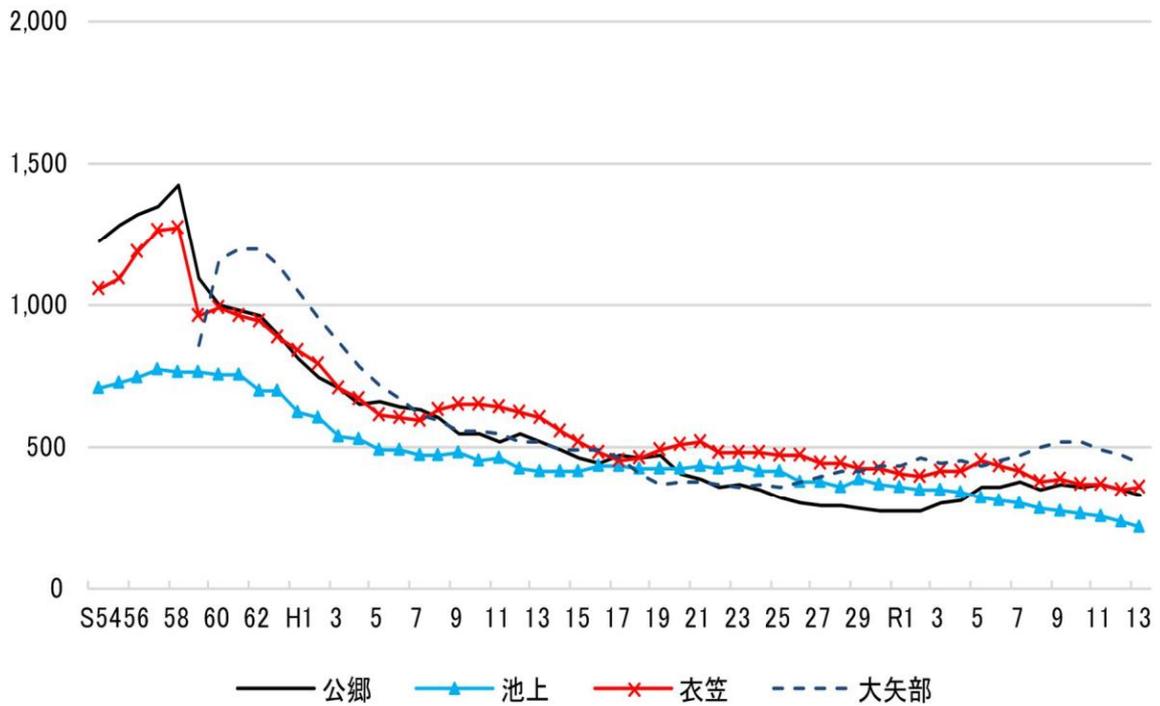


出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat) 「令和2年国勢調査 (境界データ)」

■児童数推移（公郷小・池上小・城北小・衣笠小・大矢部小・森崎小）



■生徒数推移（公郷中・池上中・衣笠中・大矢部中）



(5) 大津行政センター区域

■ 通学区域図

小学校区 (山崎小・大津小・根岸小・走水小・馬堀小・望洋小)

約 1/25000



出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat)「令和2年国勢調査 (境界データ)」

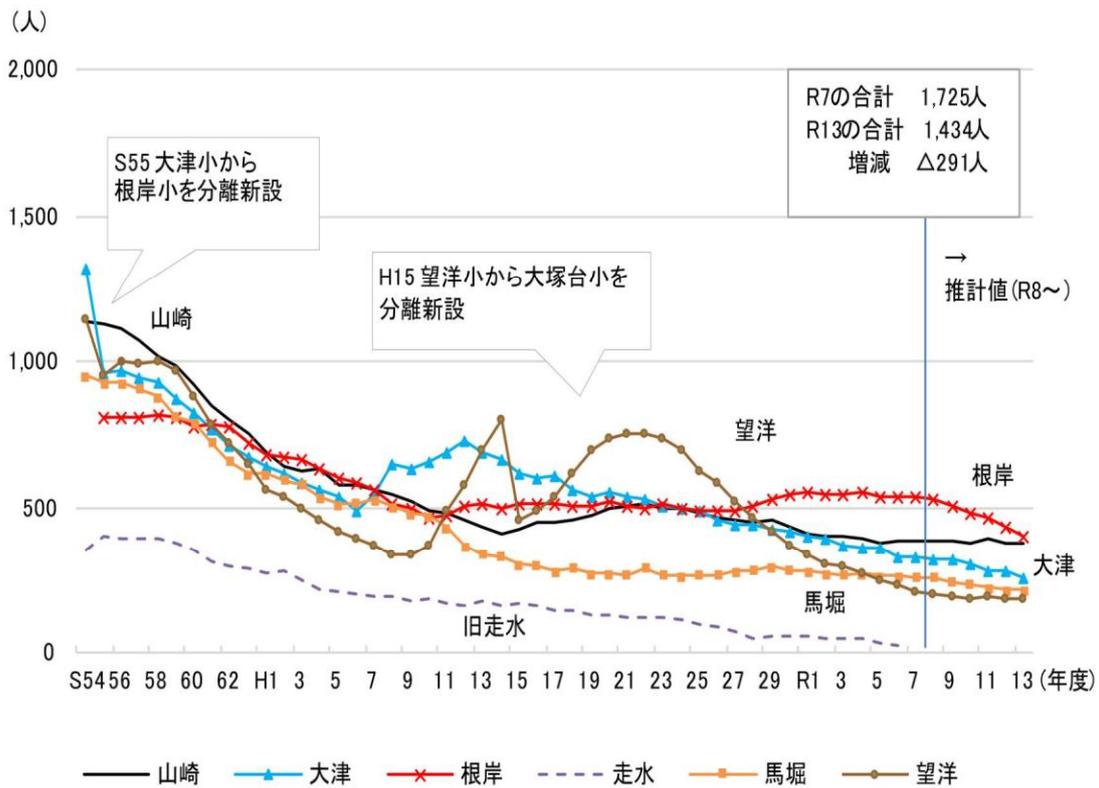
中学校区 (大津中・馬堀中)

約 1/25000

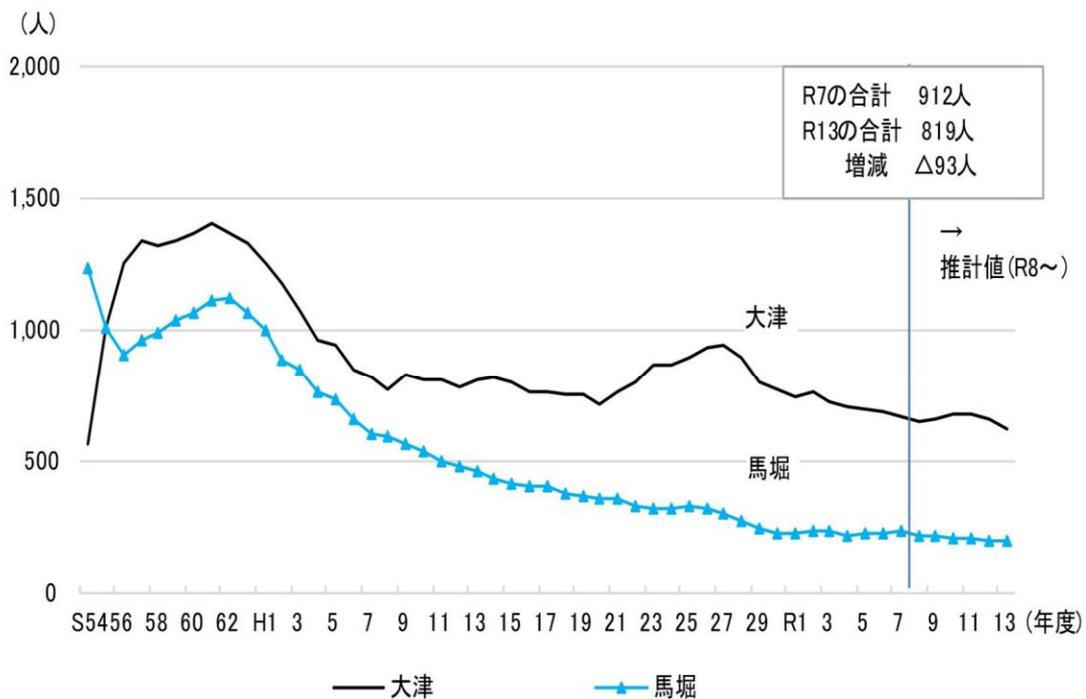


出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat)「令和2年国勢調査 (境界データ)」

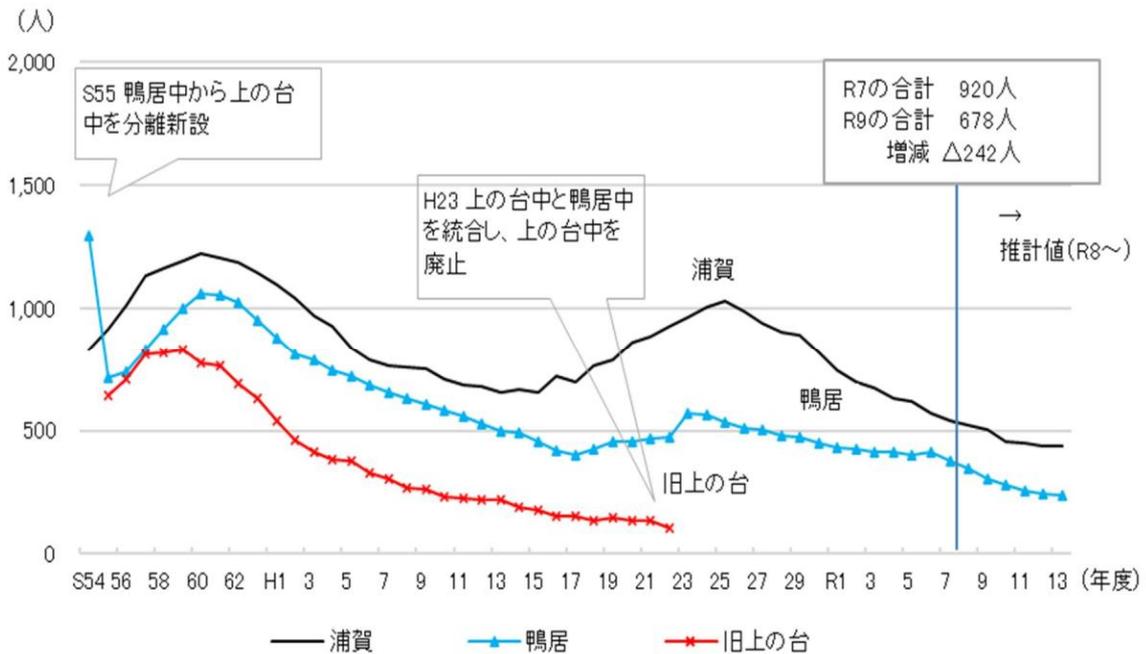
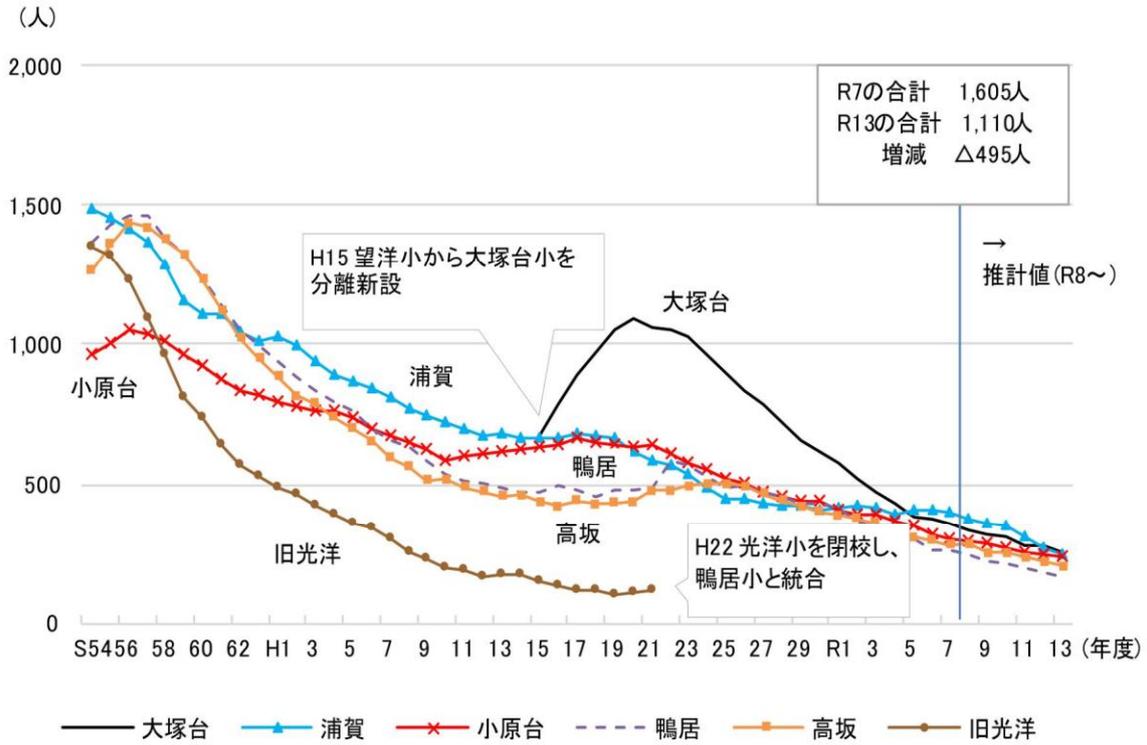
■児童数推移（山崎小・大津小・根岸小・走水小・馬堀小・望洋小）



■生徒数推移（大津中・馬堀中）



■児童数推移（大塚台小・浦賀小・小原台小・鴨居小・高坂小）



(7) 久里浜行政センター区域

■通学区域図

小学校区 (岩戸小・久里浜小・明浜小・神明小)

約 1/25000



出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat) 「令和2年国勢調査 (境界データ)」

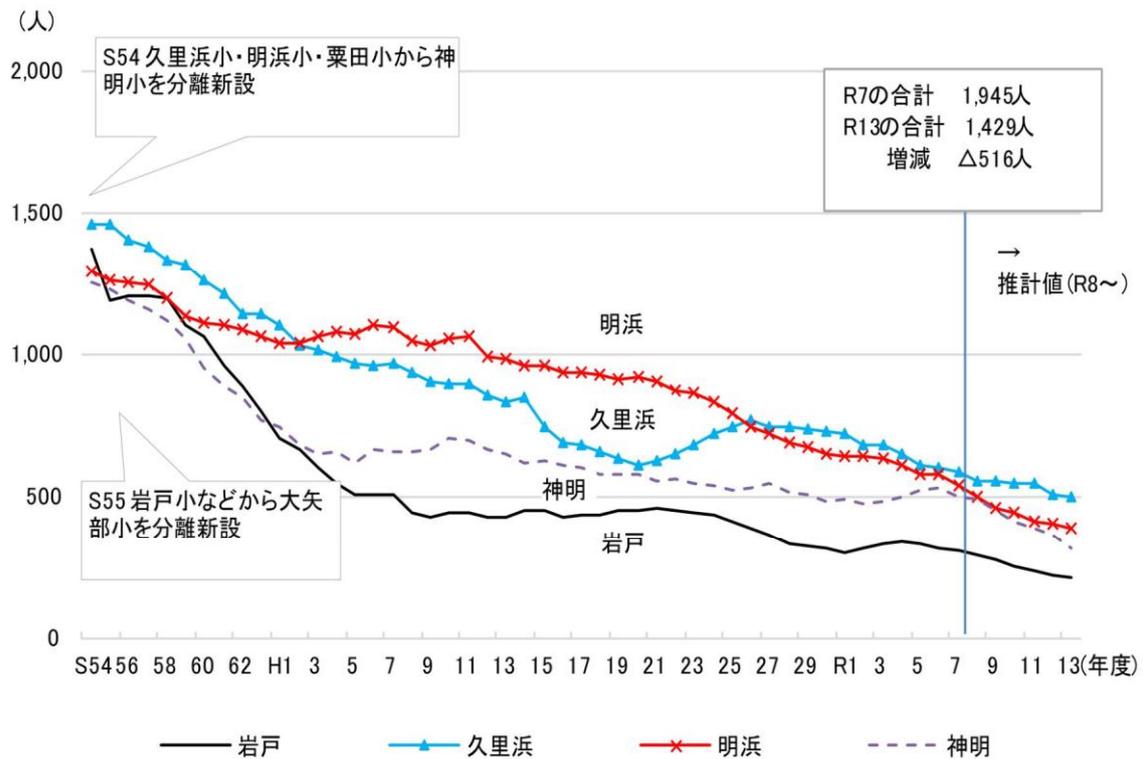
中学校区 (岩戸中・久里浜中・神明中)

約 1/25000

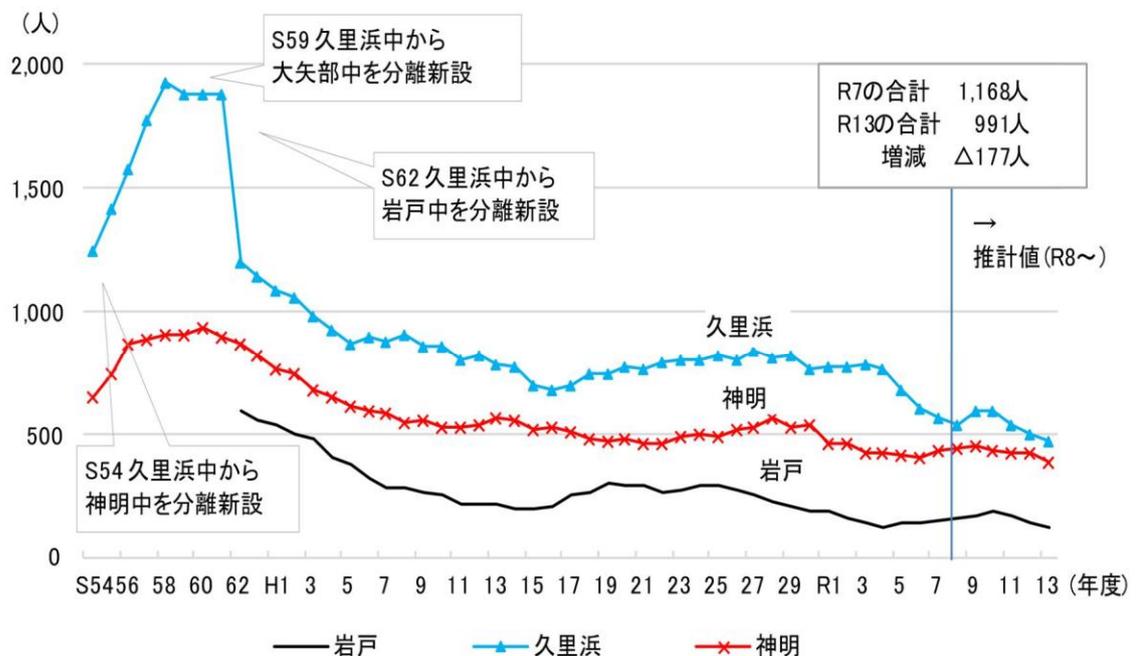


出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat) 「令和2年国勢調査 (境界データ)」

■児童数推移（岩戸小・久里浜小・明浜小・神明小）



■生徒数推移（岩戸中・久里浜中・神明中）



(8) 北下浦行政センター区域

■通学区域図

小学校区 (粟田小・野比小・野比東小・北下浦小・津久井小)

約 1/25000



出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat) 「令和 2 年国勢調査 (境界データ)」

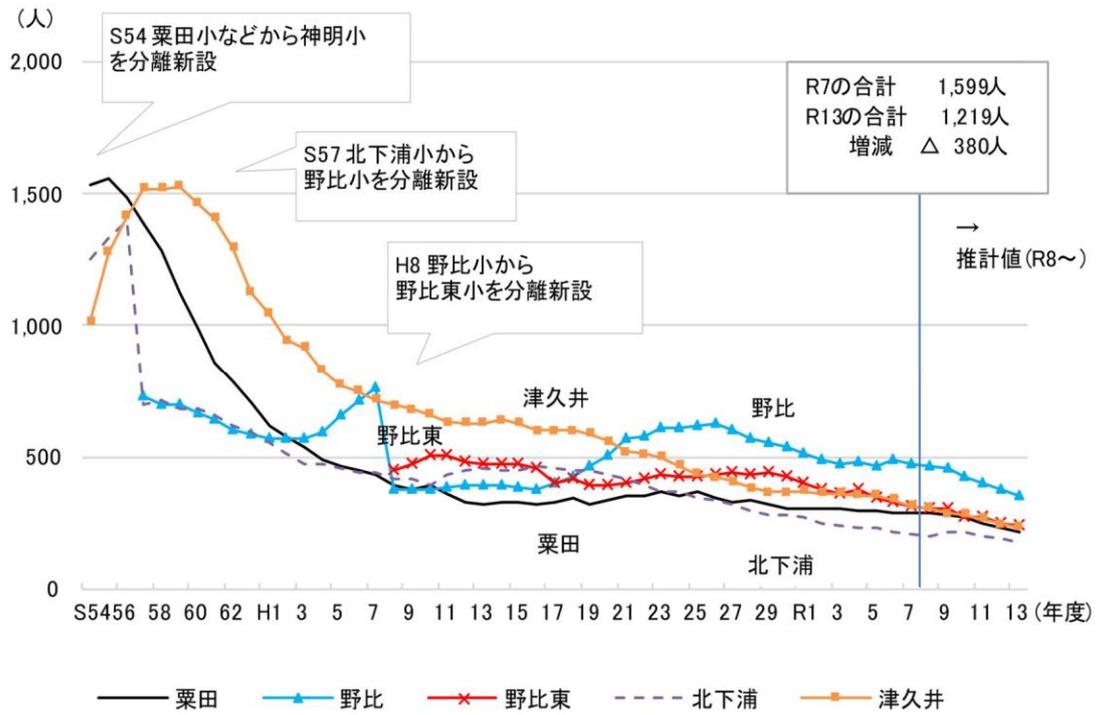
中学校区 (野比中・北下浦中・長沢中)

約 1/25000

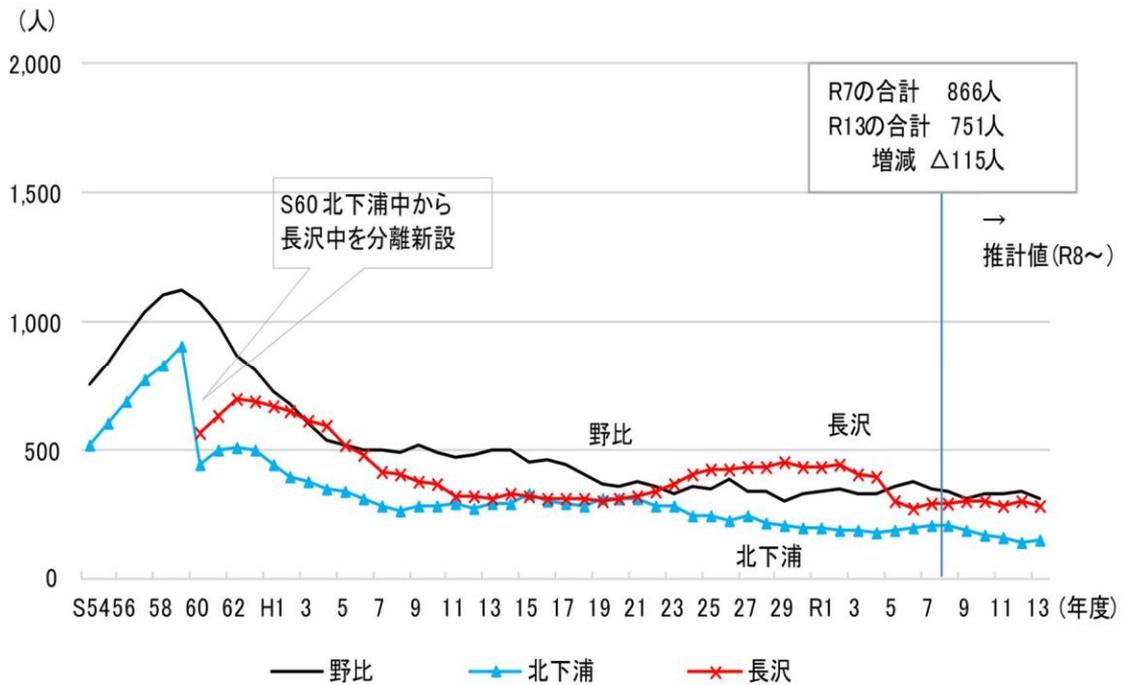


出典：政府統計の総合窓口 (e-Stat) 「令和 2 年国勢調査 (境界データ)」

■児童数推移（粟田小・野比小・野比東小・北下浦小・津久井小）



■生徒数推移（野比中・北下浦中・長沢中）



(9) 西行政センター区域

■通学区域図

小学校区（長井小・富士見小・武山小・荻野小・大楠小）

約 1/45000



出典：政府統計の総合窓口（e-Stat）「令和2年国勢調査（境界データ）」

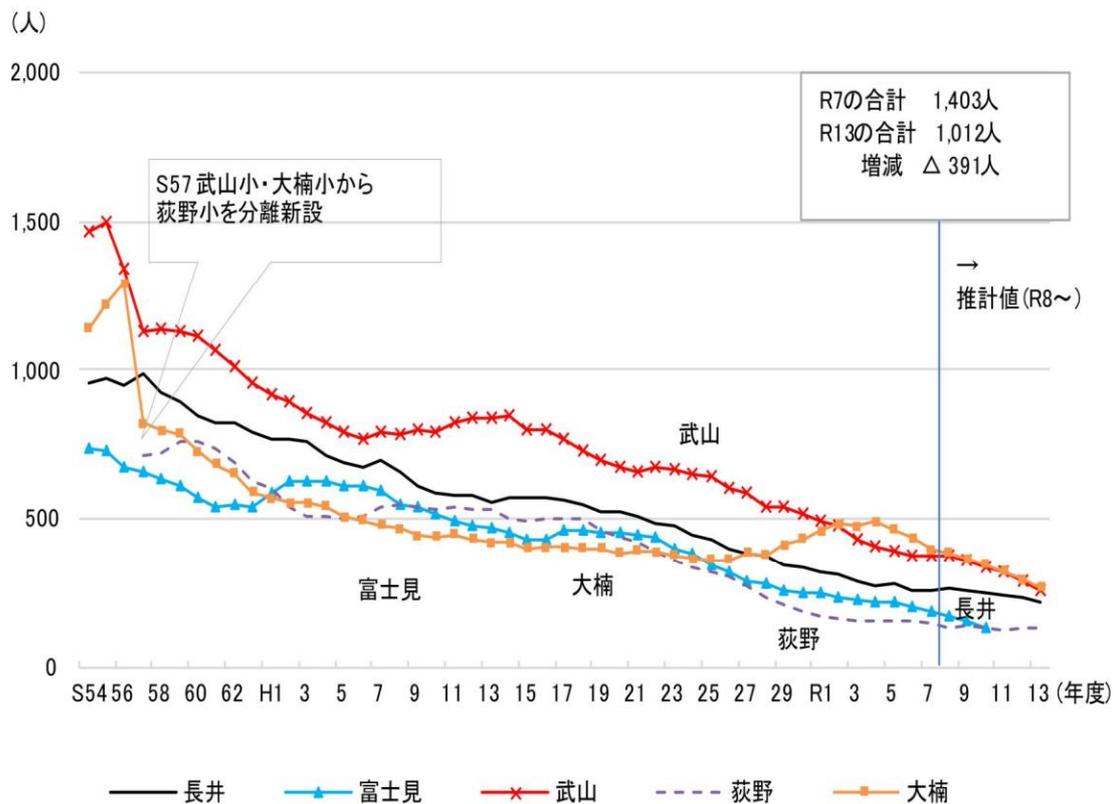
中学校区（長井中・武山中・大楠中）

約 1/45000

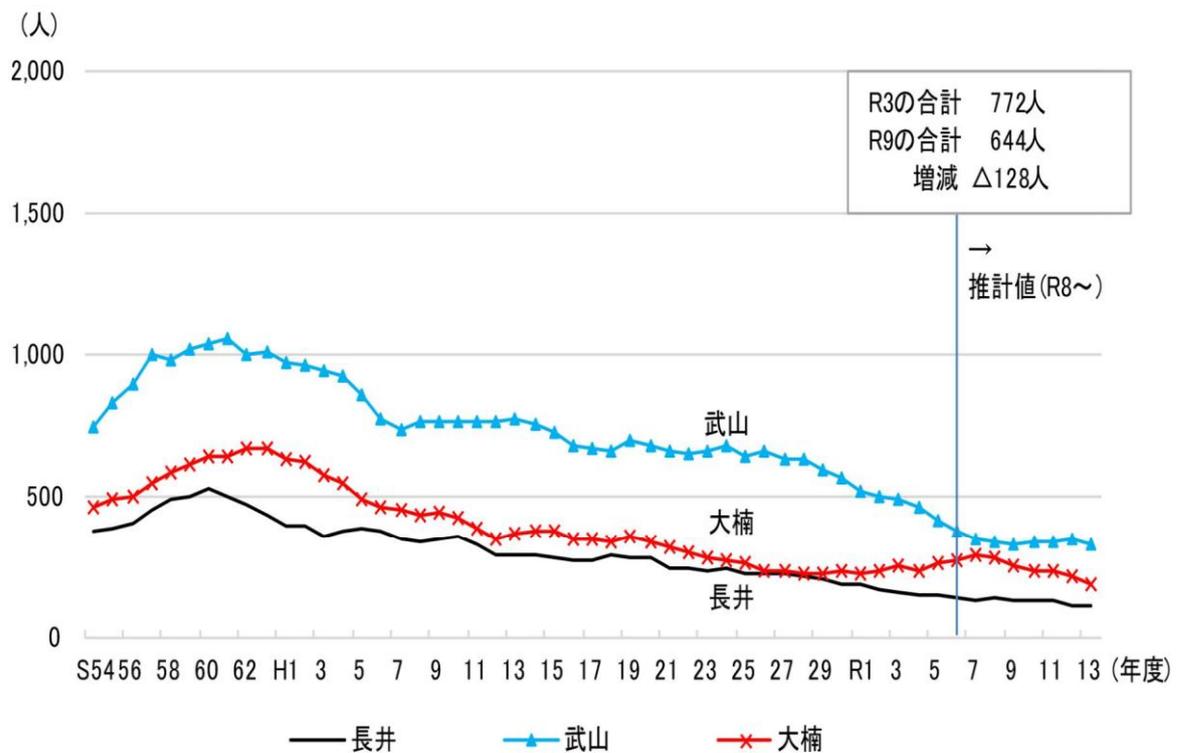


出典：政府統計の総合窓口（e-Stat）「令和2年国勢調査（境界データ）」

■児童数推移（長井小・富士見小・武山小・荻野小・大楠小）



■生徒数推移（長井中・武山中・大楠中）



2 児童・生徒・学級数一覧（令和7年5月1日現在）

【小学校（44校）】

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	児童数	学級数	児童数	学級数										
1 追浜	10	1	13	1	19	1	15	1	17	1	18	1	92	6
2 夏島	67	2	94	3	78	3	77	2	92	3	77	3	485	16
3 浦郷	81	3	102	3	86	3	117	4	111	4	124	4	621	21
4 鷹取	39	2	48	2	51	2	44	2	51	2	49	2	282	12
5 船越	45	2	50	2	54	2	58	2	58	2	65	2	330	12
6 長浦	35	1	30	1	43	2	31	2	50	2	29	2	218	10
7 逸見	13	1	7	1	17	1	7	1	14	1	9	1	67	6
8 沢山	14	1	12	1	11	1	13	1	19	1	13	1	82	6
9 桜	29	1	37	2	41	2	43	2	44	2	49	2	243	11
10 汐入	12	1	13	1	14	1	13	1	17	1	15	1	84	6
11 諏訪	52	2	69	2	56	2	68	2	60	2	77	3	382	13
12 田戸	58	2	39	2	63	2	54	2	80	3	77	3	371	14
13 山崎	52	2	70	2	55	2	68	2	77	3	63	2	385	13
14 豊島	43	2	51	2	43	2	38	1	45	2	47	2	267	11
15 鶴久保	59	2	70	2	79	3	75	3	86	3	72	2	441	15
16 公郷	98	3	122	4	111	4	121	4	126	4	95	3	673	22
17 池上	68	2	68	2	72	2	84	3	85	3	92	3	469	15
18 城北	82	3	53	2	59	2	82	3	75	3	77	2	428	15
19 衣笠	62	2	69	2	68	2	59	2	67	2	52	2	377	12
20 大矢部	63	2	63	2	44	2	49	2	61	2	55	2	335	12
21 森崎	77	3	89	3	91	3	115	4	111	4	115	4	598	21
22 大津	51	2	48	2	63	2	58	2	48	2	64	2	332	12
23 根岸	92	3	87	3	87	3	92	3	91	3	90	3	539	18
24 馬堀	38	2	40	1	47	2	46	2	48	2	39	2	258	11
25 望洋	30	1	29	1	34	1	38	1	39	2	41	2	211	8
26 大塚台	55	2	58	2	59	2	55	2	60	2	70	2	357	12
27 浦賀	53	2	66	2	80	3	60	2	67	2	74	3	400	14
28 小原台	38	1	53	2	46	2	47	2	63	2	57	2	304	11
29 鴨居	47	2	42	2	34	1	43	2	49	2	48	2	263	11
30 高坂	37	1	47	2	42	2	38	2	63	2	54	2	281	11
31 岩戸	37	2	40	2	48	2	58	2	65	2	66	2	314	12
32 久里浜	85	3	110	3	90	3	106	3	97	3	100	3	588	18
33 明浜	67	2	83	3	92	3	92	3	104	3	100	3	538	17
34 神明	70	2	81	3	83	3	88	3	94	3	89	3	505	17
35 粟田	46	2	46	2	50	2	55	2	46	2	47	2	290	12
36 野比	73	3	75	3	69	3	90	3	72	2	92	3	471	17
37 野比東	40	2	58	2	50	2	65	2	43	2	58	2	314	12
38 北下浦	37	2	34	1	43	2	32	1	31	1	33	1	210	8
39 津久井	48	2	52	2	48	2	50	2	62	2	54	2	314	12
40 長井	41	2	29	1	47	2	42	2	42	2	57	2	258	11
41 富士見	33	1	37	1	38	1	41	2	41	2	32	1	222	8
42 武山	60	2	67	2	68	2	62	2	59	2	62	2	378	12
43 荻野	18	1	20	1	28	1	26	1	19	1	37	1	148	6
44 大楠	50	2	61	2	67	2	74	3	74	2	71	3	397	14
合計	2,205	84	2,432	87	2,468	92	2,589	95	2,723	98	2,705	97	15,122	553

※児童数は、特別支援学級を含む

※学級数は、特別支援学級を含まない

【中学校（23校）】

学校名		1年		2年		3年		合計	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1	追浜	205	6	214	6	199	5	618	17
2	鷹取	40	2	62	2	58	2	160	6
3	田浦	102	3	116	3	133	4	351	10
4	坂本	99	3	101	3	92	3	292	9
5	不入斗	103	3	139	4	128	4	370	11
6	常葉	104	3	131	3	123	3	358	9
7	公郷	132	4	111	3	130	3	373	10
8	池上	95	3	101	3	107	3	303	9
9	衣笠	133	4	131	4	147	4	411	12
10	大矢部	167	4	157	4	150	4	474	12
11	大津	214	6	222	6	236	6	672	18
12	馬堀	79	2	71	2	90	3	240	7
13	浦賀	177	5	179	5	186	5	542	15
14	鴨居	104	3	147	4	127	4	378	11
15	岩戸	48	2	50	2	55	2	153	6
16	久里浜	170	5	168	5	236	6	574	16
17	神明	171	4	125	4	145	4	441	12
18	野比	106	3	123	3	127	3	356	9
19	北下浦	70	2	84	3	61	2	215	7
20	長沢	113	3	76	2	106	3	295	8
21	長井	39	2	46	2	46	2	131	6
22	武山	110	3	118	3	119	3	347	9
23	大楠	92	3	107	3	95	3	294	9
合計		2,673	78	2,779	79	2,896	81	8,348	238

※生徒数は、特別支援学級を含む

※学級数は、特別支援学級を含まない

3 児童・生徒・学級数推計一覧（令和7年5月推計）

【小学校（44校）】

学校名	令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	児童数	学級数										
1 追浜	90	8(2)	142	8(2)	152	8(2)	154	8(2)	166	8(2)	178	8(2)
2 夏島	496	24(7)	448	23(7)	415	22(7)	379	21(7)	331	20(7)	297	20(7)
3 浦郷	558	27(7)	502	25(7)	434	23(7)	398	22(7)	334	21(7)	285	19(7)
4 鷹取	287	15(3)	280	15(3)	268	14(3)	259	14(3)	240	13(3)	225	12(3)
5 船越	299	17(6)	274	16(6)	247	15(6)	220	14(6)	201	13(6)	185	12(6)
6 長浦	230	13(3)	214	12(3)	212	12(3)	194	11(3)	197	11(3)	190	10(3)
7 逸見	70	9(3)	69	9(3)	72	9(3)	67	9(3)	72	9(3)	70	9(3)
8 沢山	79	8(2)	68	8(2)	62	8(2)	57	8(2)	51	8(2)	48	8(2)
9 桜	233	13(3)	213	12(3)	188	11(3)	176	10(3)	158	9(3)	146	9(3)
10 汐入	79	10(4)	66	10(4)	62	10(4)	63	10(4)	60	10(4)	56	10(4)
11 諏訪	400	19(5)	385	19(5)	366	18(5)	407	20(5)	415	20(5)	414	20(5)
12 田戸	327	19(6)	293	18(6)	270	17(6)	251	17(6)	245	16(6)	222	15(6)
13 山崎	387	19(5)	382	19(5)	379	19(5)	391	19(5)	379	18(5)	378	18(5)
14 豊島	252	16(5)	251	16(5)	257	16(5)	248	15(5)	218	14(5)	209	13(5)
15 鶴久保	429	21(6)	390	20(6)	374	19(6)	338	18(6)	329	18(6)	310	18(6)
16 公郷	682	29(7)	632	28(7)	603	27(7)	582	26(7)	524	24(7)	500	24(7)
17 池上	449	20(4)	432	19(4)	411	18(4)	395	17(4)	368	17(4)	356	17(4)
18 城北	414	21(6)	414	21(6)	400	20(6)	398	20(6)	406	20(6)	370	19(6)
19 衣笠	387	20(8)	384	20(8)	373	20(8)	351	20(8)	315	19(8)	277	18(8)
20 大矢部	340	19(7)	329	19(7)	338	19(7)	343	19(7)	335	19(7)	314	19(7)
21 森崎	565	25(5)	530	24(5)	486	22(5)	462	21(5)	427	20(5)	402	19(5)
22 大津	322	15(3)	318	15(3)	302	15(3)	283	15(3)	280	15(3)	259	14(3)
23 根岸	530	23(5)	508	23(5)	484	22(5)	461	21(5)	436	20(5)	399	19(5)
24 馬堀	257	16(4)	242	15(4)	233	15(4)	224	15(4)	215	14(4)	213	13(4)
25 望洋	202	11(2)	196	10(2)	186	9(2)	189	10(2)	187	10(2)	185	10(2)
26 大塚台	335	15(3)	318	15(3)	308	15(3)	282	14(3)	277	14(3)	257	13(3)
27 浦賀	378	16(3)	359	16(3)	348	16(3)	311	15(3)	272	14(3)	248	13(3)
28 小原台	298	17(5)	285	17(5)	270	16(5)	258	15(5)	250	15(5)	239	14(5)
29 鴨居	243	14(4)	224	13(4)	210	12(4)	200	12(4)	183	11(4)	162	10(4)
30 高坂	283	16(4)	254	15(4)	253	15(4)	238	14(4)	220	13(4)	204	12(4)
31 岩戸	293	16(4)	281	16(4)	254	15(4)	238	14(4)	227	13(4)	217	12(4)
32 久里浜	560	28(9)	559	28(9)	550	28(9)	548	28(9)	512	27(9)	500	27(9)
33 明浜	498	20(4)	459	19(4)	446	19(4)	414	18(4)	404	18(4)	392	18(4)
34 神明	491	24(7)	452	23(7)	416	22(7)	390	21(7)	363	20(7)	320	18(7)
35 粟田	289	15(3)	278	15(3)	268	15(3)	249	14(3)	229	13(3)	215	12(3)
36 野比	463	24(6)	453	23(6)	423	22(6)	404	21(6)	378	20(6)	353	19(6)
37 野比東	303	14(2)	302	14(2)	275	14(2)	270	14(2)	251	14(2)	241	13(2)
38 北下浦	202	9(2)	214	10(2)	212	10(2)	197	9(2)	190	9(2)	177	9(2)
39 津久井	304	17(5)	286	17(5)	281	17(5)	266	16(5)	244	15(5)	233	15(5)
40 長井	262	14(3)	256	14(3)	251	14(3)	240	14(3)	237	14(3)	218	13(3)
41 富士見	217	15(5)	201	14(5)	190	13(5)	173	12(5)	153	11(5)	135	11(5)
42 武山	374	18(6)	359	18(6)	340	18(6)	317	18(6)	288	18(6)	255	17(6)
43 荻野	135	11(5)	137	11(5)	132	11(5)	128	11(5)	131	11(5)	136	11(5)
44 大楠	386	19(5)	365	18(5)	345	17(5)	322	17(5)	297	17(5)	268	16(5)
合計	14,678	759 (203)	14,004	740 (203)	13,346	717 (203)	12,735	697 (203)	11,995	673 (203)	11,258	646 (203)

※カッコ内は、特別支援学級の再掲（学級数は令和7年度をスライドした数値）

※学級数は35人学級として推計

【中学校（23校）】

学校名	令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 追浜	630	21 (3)	637	23 (3)	626	23 (3)	592	22 (3)	585	21 (3)	542	20 (3)
2 鷹取	152	7 (2)	139	7 (2)	142	8 (2)	146	8 (2)	142	8 (2)	137	8 (2)
3 田浦	306	14 (5)	292	14 (5)	278	14 (5)	279	14 (5)	251	14 (5)	239	14 (5)
4 坂本	286	14 (5)	282	14 (5)	255	14 (5)	254	14 (5)	232	14 (5)	231	14 (5)
5 不入斗	348	13 (2)	313	12 (2)	307	12 (2)	296	11 (2)	291	11 (2)	274	11 (2)
6 常葉	370	15 (4)	360	15 (4)	372	15 (4)	354	14 (4)	330	13 (4)	315	13 (4)
7 公郷	347	15 (5)	370	16 (5)	355	16 (5)	367	17 (5)	351	17 (5)	331	16 (5)
8 池上	285	13 (4)	267	13 (4)	261	13 (4)	248	13 (4)	232	12 (4)	211	11 (4)
9 衣笠	378	16 (4)	380	16 (4)	369	16 (4)	369	16 (4)	345	16 (4)	357	16 (4)
10 大矢部	499	18 (4)	516	19 (4)	520	19 (4)	488	19 (4)	468	19 (4)	444	19 (4)
11 大津	656	25 (6)	662	26 (6)	679	27 (6)	678	27 (6)	657	26 (6)	622	25 (6)
12 馬堀	218	11 (5)	215	11 (5)	204	11 (5)	204	11 (5)	200	11 (5)	197	11 (5)
13 浦賀	520	19 (4)	503	19 (4)	455	18 (4)	447	18 (4)	436	18 (4)	437	18 (4)
14 鴨居	347	15 (5)	303	14 (5)	281	14 (5)	259	14 (5)	243	14 (5)	241	14 (5)
15 岩戸	162	8 (2)	176	8 (2)	188	8 (2)	171	8 (2)	148	8 (2)	124	8 (2)
16 久里浜	541	20 (4)	594	22 (4)	595	22 (4)	545	21 (4)	506	20 (4)	475	20 (4)
17 神明	449	22 (8)	459	22 (8)	434	22 (8)	426	22 (8)	427	22 (8)	392	21 (8)
18 野比	344	15 (4)	312	14 (4)	336	15 (4)	329	15 (4)	346	16 (4)	310	15 (4)
19 北下浦	207	10 (3)	191	9 (3)	169	9 (3)	166	9 (3)	149	9 (3)	151	9 (3)
20 長沢	299	12 (3)	308	13 (3)	303	14 (3)	289	13 (3)	305	13 (3)	290	12 (3)
21 長井	140	7 (2)	134	6 (2)	137	7 (2)	129	7 (2)	118	7 (2)	116	6 (2)
22 武山	339	13 (3)	331	14 (3)	337	15 (3)	343	15 (3)	349	15 (3)	335	14 (3)
23 大楠	280	11 (2)	252	10 (2)	239	9 (2)	232	8 (2)	218	8 (2)	193	8 (2)
合計	8,103	334 (89)	7,996	337 (89)	7,842	341 (89)	7,611	336 (89)	7,329	332 (89)	6,964	323 (89)

※カッコ内は、特別支援学級の再掲（学級数は令和7年度をスライドした数値）

※学級数は、令和8年度は1年生が35人学級、2・3年生が40人学級、令和9年度は1・2年生が35人学級、3年生が40人学級、令和10年度以降は全学年35人学級とする。

あなたが好き 私が好き 横須賀が好き
と誇れる人づくり

横須賀市教育環境整備計画

令和4年度（2022年度）～令和11年度（2029年度）

策定年月 令和8年（2026年）3月

策 定 横須賀市教育委員会

（担当 教育委員会事務局教育総務部教育環境整備課）

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

TEL : 046-822-6802 FAX : 046-822-6849

E-mail : efm-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp